

高等学校 教科書選定理由（科目名 現代の国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	現国	703	現代の国語

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	教科 国語科・科目 現代の国語
------	------	-----------------

3. 教科書選定理由

「現代の国語」の教材の軸になるのは、評論文と実用的な文章である。各社とも現代社会で論点となっているテーマについて論じた評論文を教材化している。また、探究活動も各社工夫して取り入れている。これらの点で、各社とも優れた教科書であった。

八社の現代の国語の教科書を比較・検討した結果、本校国語科が選んだのは、東京書籍の『現代の国語』である。東京書籍の『現代の国語』を選んだ理由は大きく三点あげられる。

一つ目の理由として、読解編と探究編に分けて作られている点があげられる。読解重視の授業と、表現活動重視の授業とをわけることで、目標や活動内容を明確にした授業を行うことができる。なすべきことや、どのような力をつければいいのか不明確なまま授業をする、受けるという状況を防ぐことができる。この点は他社の教科書と比べた場合、長所である。新学習指導要領では「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動が「読むこと」活動と同等に充実することが求められている。そのために適切な構成になっていると言える。

二つ目の理由として、評論読解に必要な重要語の説明がなされていることである。評論文読解では、主観、抽象や身体などの評論文重要語の理解が欠かせない。これらは日常使わない、あるいは日常使われる意味とは異なる意味で使われている。そのため、評論文読解では、重要語の理解が必要になる。特に本校の生徒は高2、高3と難度の高い評論文を読むことになるので、高1段階では重要語の基礎的な理解を行いたい。そのため、説明のある教科書が適切である。

三つ目の理由として、テーマに基づいた教材編成があげられる。言葉、メディア、科学など現代社会の論点となるテーマによって、教材文を集めている。テーマに関する複数の教材文を読むことで対象認識を深めることが可能である。また授業において比べ読みをすることでテーマに対する様々な視点を持つことが期待できる。

以上の点より、東京書籍の『現代の国語』を選定した。

高等学校 教科書選定資料（科目名 言語文化）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
117	明治	言文	711	精選 言語文化

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	教科 国語科・科目 言語文化
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

「言語文化」の教材の軸になるのは、文学的文章と古典である。各社とも、従来も大切にされていた文学作品や古典作品、いわゆる安定教材、定番教材を教材としている。たとえば、文学的文章として、全社「羅生門」をとりあげている。古文では説話文学、「徒然草」や「竹取物語」の一節など、漢文では故事成語、「十八史略」や「論語」の一節など、従来と同様のものを教材化している。また、教材文の読解と併せて探究活動を行う点で、各社とも大きな違いはない。

八社の言語文化の教科書を比較・検討した結果、本校国語科が選んだのは、明治書院の『精選言語文化』である。

明治書院の『精選 言語文化』を選定した大きな理由として、近現代文編と詩歌編の充実があげられる。近現代文編は、本校生徒に読ませたい作者・作品が選ばれており、教材数も多い。また、古典と現代文の橋渡しである明治期の文語文と口語文がとりあげられている。さらに、詩歌を独立してとりあげている。一語一語の選択、それが作り上げる作品世界を想像させることのできる詩歌学習は、本校国語科として力を入れていることでもあり、詩歌に力を入れている点は大きな長所である。現代文の教材は、定番のものと新しいものがバランス良く配されていると言える。

また、近現代文編と詩歌編に加え、古文編、漢文編も教材数が多い。とりあげられている教材は定番のものが多く、古典の導入期に必要な基礎的事項を学ぶに適した教科書であるといえる。教材数が豊富なため、本校の授業スピードに応えることができる。この点も長所である。

以上の点より、明治書院の『精選 言語文化』を選定した。

高等学校 教科書選定理由 (科目名 論理国語)

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名 (シリーズ)
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	論国	703	精選 論理国語

2. 教科書を使用する学年, 教科・科目

高等学校	第2学年	教科 国語科・科目 論理国語
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校では、高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで、2学年では「論理国語」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「論理国語」は、論理的思考、批判的思考、創造的思考の育成を重視する科目である。また、言語活動として読むことと書くことを重視している。教材文は評論文が中心となる。各教科書会社とも、これまで評価の高かった評論文、大学入試で頻出する筆者の評論文を教材文としている。また、現代社会で論点となっている「言語」、「メディア」、「グローバル社会」などを単元構成の柱とする教科書が多い。読む活動と書く活動も適切に設けられていた。

八社の教科書を検討した結果、本校国語科が「論理国語」の教科書として選んだのは、三省堂の『精選 論理国語』である。また、最後まで候補として残っていたのは、筑摩書房の『論理国語』と大修館書店の『論理国語』である。

筑摩書房の『論理国語』は教材文が充実している。また単元「変貌する時代、変貌する人間」を高く評価する意見があった。一方、評論文のキーワードの説明や背景の説明が若干弱いように感じられた。大修館書店の『論理国語』は教材文の充実とともに、評論文のキーワードの説明や背景の説明なども手厚い。「広がる読書」欄がもう少し手厚ければと惜しく思われた。

三省堂の『精選 論理国語』を選んだ理由として、本校生徒の学習に応えることのできる教材の量と質があげられる。たとえば、単元「情報社会」を生きるⅠはコラムも含め四つの評論文からなっている。いずれも本校生徒に読ませたい筆者の文章である。これらの教材文を読むことで、「情報社会」について認識を広げると共に、各教材の比較読みや批判読みを行うなど、思考力を育成する学習活動を展開することができる。資料編では、「メディア・情報」など、現代社会の論点となっている分野に関するキーワードや背景が説明されている。各単元の教材文に加えて、資料編の説明を読むことで、本校生徒が学習するのに十分な教材の量を確保できる。

また、「読書の扉」欄が充実している点もあげられる。「読書の扉」で紹介されている本を各生徒が読むことで、授業から発展して、現代社会についてより課題意識を深めることができる。

以上の理由により、三省堂の『精選 論理国語』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（科目名 古典探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	古探	717	高等学校 古典探究 古文編
			718	高等学校 古典探究 漢文編

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	教科 国語科・科目 古典探究
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校では、高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで、2学年では「古典探究」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「古典探究」は、古典を読むことで、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めることや、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることを重視する科目である。さらに、生涯にわたって古典に親しむことで、自己を向上させる態度の育成も目標としている。各教科書会社とも、これまで評価の高かった古典作品、いわゆる定番教材、安定教材を教材文として多くとりあげていた。

八社の教科書を検討した結果、本校国語科が「古典探究」の教科書として選んだのは、第一学習社の『高等学校 古典探究 古文編』と『高等学校 古典探究 漢文編』である。また、最後まで候補として残っていたのは、明治書院の『精選 古典探究 古文編』と『精選 古典探究 漢文編』である。

本校は「言語文化」の教科書として明治書院の教科書を採用しており、明治書院の『精選 古典探究』は接続という点で適切である。また、載せられている絵の色は美しく、生徒を惹きつけるだろうと思われる。一方で「後編」の「源氏物語」がもう少し充実していればと思われた。

第一学習社の『精選 古典探究』を選んだ理由として、古文編では「源氏物語」が充実している点があげられる。高校古文の教材として「源氏物語」は最も難しいものと言える。読むためには、総合的な読む力が求められる。そのため、読む力を育成するのに資する。また、「源氏物語」は人間の複雑な心情を描く。人物同士の様々な思いのぶつかり合い、そのぶつかり合いの中で悩む人物が描かれており、人間理解を深めることができる。高校3年生でも「古典探究」を履修するため、読み応えのある「源氏物語」の文章が充実していることは、評価される。漢文編では単元「史記の群像」が評価される。高校漢文としてはいずれも長い教材文である。そのため、分量を読み、漢文に読み慣れることができる。また、「源氏物語」同様、「史記」は苦境を生きる人間、悩む人間を描いている。読む中で、人間理解を深めることができる。

以上の理由により、今年度は第一学習社の『高等学校 古典探究』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由 (科目名 現代文B)

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名 (シリーズ)
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	現B	323	高等学校 現代文B [改訂版]

2. 教科書を使用する学年, 教科・科目

高等学校	第3学年	教科 国語科・科目 現代文B
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校高校3年生, 高等学校第1学年で「国語総合」を履修し, ついで, 第2学年, 第3学年で「現代文B」を履修する。現行の学習指導要領に伴い, 三省堂の「現代文B」を使用することに決定した。それは, 収録されている教材の質・量ともに充実していること, 第1学年で使用している東京書籍の「国語総合」との接続に問題が無いことが主な理由である。

検討の結果, 上記の条件を踏まえて最後まで候補として残ったのは, 他に, 筑摩書房『現代文B』, 次いで, 大修館書店『現代文』上巻下巻があった。

筑摩書房『現代文B』は, 第一部(高2学年で履修)に, 評論を5単元14教材, 小説は4教材, その他記録や随筆, 詩・短歌等を収め, 第二部(高3学年で履修)には, 評論を14教材, 小説は新旧取り混ぜて5教材, 他に随筆と詩・俳句を収めている。たしかに量的には十分過ぎるほどではある。しかし, 定番教材はともかく, その他の教材は総じて古く, 良い文章ではあっても難易のばらつきが気になった。

大修館書店『現代文』上巻下巻は分冊であるが, これについては従来本校が採択してきたものを踏襲するため問題とはならなかった。収録教材数は, 上巻に評論14, 小説4, 詩・短歌・俳句と実用的な文章, 下巻では, 評論14, 小説6の構成である。中心教材は従来のもを踏襲していて新味に乏しい一方で, 新しく加わった教材の中には「国語総合」で扱ってもおかしくないものも混じっているのが惜まれる。

三省堂「現代文B」は, 教材数は, I部に評論12, 小説5, 詩と短歌, II部に評論11, 小説6, 詩と俳句が収められ, 上記に比較して数が多いというわけではない。しかし, 現実に限られた時間の中で深い学習を展開するには十分な質が確保されている点で高い評価を得た。また, 「批評のまなざし」「現代評論を読む」として, 短い評論文と課題とで構成された小教材を置き, また「表現と実用の文章」として資料等から情報を読み取り発信する力の育成を目指した点は, 発想としては新しいとはいえないものの, 旧来の枠を超えようとする新鮮味を感じさせた。

以上の理由により, 三省堂『現代文B』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（科目名 古典B）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	古B	350	高等学校 改訂版 古典B 古文編
			351	高等学校 改訂版 古典B 漢文編

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	教科 国語科・科目 古典B
------	------	---------------

3. 教科書選定理由

「古典B」では、「古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる」という目標が掲げられている。この目標に沿って、各教科書では、幅広いジャンルから多くの教材が選ばれていた。教材の幅広さという観点が第一条件であった。また2年、3年と継続して持つため、古文・漢文で2分冊構成であることも必要条件であった。そこで三省堂、大修館、第一学習社に絞られた。単元の始めに、作家・作品・時代などに関連したコラムがあったのが、第一学習社と三省堂であった。なかでも、第一学習社においては、終わりに言語活動も設定されており、生徒による課題設定、調査・研究を行うための教材も配置されていた。発展的な学習ができるようになっていることが決め手である。

古文編では定番作品の「枕草子」は「すさまじきもの」，「源氏物語」では宇治十帖から「薫と宇治の姫君」などが加えられ、学習の幅を広げる構成になっていた。さらに入試対策としては、説話に「今物語」「唐物語」や、物語に「堤中納言物語」「とりかへばや物語」「しのびね物語」など新しい教材が追加され、広範なジャンルに触れていたことが特徴的だった。さらに、世阿弥の「風姿花伝」が配置され、教養の面から古文学習をより一層引き立てるものとなると思われる。

漢文編においては、各作品の末尾に本文に登場した重要な句形を整理して、基礎基本に振りかえりつつ徐々にステップアップする構成となっており、漢文を読む能力の強化を目指している。「十八史略」や「戦国策」，「史記」などから定番の有名教材をとりあげ、漢詩，「論語」，「三国志」などの定番作品も充実している。そのうえで、近年の大学入試頻出である「唐宋八大家」の文章や、同様に頻出の作品年代である明・清代の文章を幅広くとりあげられており、大学入試を見通した構成になっていることが特徴的であった。

古文、漢文とも我が校の生徒の実態に即した教材構成になっていると判断し、採用を決定した。

高等学校 教科書選定理由（科目名 古典A）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	古A	316	高等学校 改訂版 古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	教科 国語科・科目 古典A
------	------	---------------

3. 教科書選定理由

本校の「古典A」の授業は文系生徒を対象としており，高校2年生で購入している「古典B」教科書との同時使用を想定している。さらに，高校3年生で古文の分野に特化した教科書を購入しての授業となるため，古文の教材配列がどうであるかという観点から検討した。

条件としては，源氏物語，大鏡といった大学入試に多く出される作品において，複数の場面，章段がとりあげられており，まとまった学習を通して作品世界を理解できる教材構成がなされているかどうかあげられる。

また，「古典A」の教材編成は各社にゆだねられており，ほとんどのものが「古典B」の前段階の教材編成となっており，上記の条件を満たす教材編成のものは，筑摩，第一学習社の二社しかなかった。

筑摩の場合，源氏物語の宇治十帖が加えられており，興味深い編成であったが，大鏡が7と採用教材が少なく，また源氏物語，大鏡，評論しかとりあげられていないことが不十分であった。

第一学習社の場合，大鏡については，「村上天皇と中宮安子」「道長と伊周」「二葉の葵」など，既習教材と重なりがなく，他の章段とのつながりを見出すことができる章段が多く採用されている。また源氏物語については，「藤壺の宮との過ち」「野宮の別れ」「明石の君との出会い」「野分の日の垣間見」など，既習の教材との関わりの強いものが多い上に，光源氏の生涯を追う構成・配列がなされており，広がりを持った学習ができると考えられた。また，「とりかへばや物語」など，目新しい物語が採録されていて，古文の面白さを味わえる。さらに，評論もあり，文系の生徒の大学入試へ向けての学習段階に適した構成となっている。

以上の理由により，第一学習社『高等学校 古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章』を採用するに至った。

高等学校 教科書選定理由（歴史総合）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
81	山川	歴総	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	地理歴史・歴史総合
------	------	-----------

3. 教科書選定理由

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）を、本校の教育目標・教育課程、生徒の実態を踏まえ、来年度使用教科書に選定した。

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）が、他の教科書と比較して優れている点は、次の通りである。

1. 各テーマが4ページまたは6ページから構成されており、本文が適切な文章量で簡潔にまとめられている。
2. 本文の随所に、日本と世界が相互に関連していることを意識できるような記述がみられる。
3. 導入からまとめまでの流れが分かりやすくレイアウトされ、スムーズに授業を展開できるよう工夫されている。
4. 写真・絵画・ポスター・風刺画など直観的に読みとけるバリエーション豊かな資料が多く掲載されている。
5. 内容理解を促す資料として、文字資料・グラフ・新聞記事なども準備されている。
6. 充実した地図や、日本と世界を比較できる年表もテーマごとに多数掲載されている。
7. テーマの目標となる大きな問いから各資料に付した小さな問いまで、様々な学習活動に沿った問いが設定されている。
8. 問いが、適宜選択しグループで取り組んだり、生徒同士で意見交換することを想定しており、主体的・対話的で深い学びが目指されている。
9. 温暖化や天然資源の資料等が掲載されており、地理総合とのスムーズな連携が意識されている。
10. 学習指導要領にある観点(「開発・保全」「対立・強調」「自由・制限」等)から、過去の人々が課題に対してどのような取り組みをおこなったかを資料を読みときながら振り返り、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えるような工夫がみられる。

高等学校 教科書選定資料（歴史総合）

評価の観点	①教科書の叙述（内容）とサイズ・ボリュームについて ②歴史を何から読み解くか、「歴史と資料」の項目について ③「歴史の説明」の項目について		
発行	山川出版社	帝国書院	実教出版
記号・番号	歴総・708	歴総・706	歴総・703
観点①	B 5 変型判を採用しているため、図版や注の記述が充実している。各テーマが4ページまたは6ページから構成されており、本文が適切な文章量で簡潔にまとめられている。	B 5 判を採用し、コンパクトな装丁となっている。記述内容が充実している一方、歴史総合を進めていく上で内容過多の懸念がある。	B 5 判を採用し、コンパクトな装丁となっている。記述内容が充実している一方、歴史総合を進めていく上で内容過多の懸念がある。
観点②	「歴史と資料」は文字史料だけでなく、写真・絵画・ポスター・風刺画等にも触れられており、歴史の叙述に対する理解を深めるものとなっている。	「歴史と資料」はビジュアルに捉えられる「生活・文化から見る日本と世界」、身近な視点を重視した「ものから見る歴史」等の工夫がみられる。	「歴史と資料」は人物のコラムや年表形式の資料があり、生徒の歴史の流れに対する理解を助けるものとなっている。
観点③	「歴史の説明」は全体の記述を少なくしているため、使用されている用語も精選されたものになっている。	「歴史の説明」は出来るだけ日本と世界の歴史を詳述するよう、さまざまな試みが駆使されている。	「歴史の説明」は出来るだけ日本と世界の歴史を詳述するよう、さまざまな試みが駆使されている。紙幅の関係から、やや難解なところも見受けられる。
総合評価	簡潔な本文と、構造的で分かりやすいレイアウトに留意されており、単元ごとに問いが設定され、諸資料の読解を通して多面的・多角的に生徒に追及させる特色がある。現代的諸課題の観点から近現代史にアプローチする歴史総合の趣旨に合っている。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されている。限られた授業時数で教科書内容が消化できるのか、日本史・世界史の統合科目となってしまう懸念がある。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されている。日本史的分野・世界史的分野の記述量のバランスも良いが、限られた授業時数で消化できるのか、日本史・世界史の統合科目となってしまう懸念がある。

地理・歴史科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地総	703	高等学校 新地理総合

2. 教科書を使用する学年および種目

		種目
高等学校	第2学年	地理総合

3. 教科書採択の理由

学習指導要領、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に鑑み、以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」に向けて発展的に学ぶための基礎となる知識・技能も十分に取り上げられている。

- ・第1部では、地図・GISの技能について、特設ページを活用し、実践を交えながら段階的に習得できるよう工夫が施されている。
- ・第2部では、国際理解と国際協力について、世界諸地域を「自然」「社会」「経済」「開発」など様々な視点に分けて学習を構成し、追究事例で学びを深めることが可能で、かつ学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。
- ・第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行う特設ページなどの工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を幅広く扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。

高等学校 教科書選定資料（地理総合） No. 1

評価の観点	①第一部について、目標との関連、内容構成を評価した。 ②第二部について、目標との関連、内容構成を評価した。 ③第三部について、目標との関連、内容構成を評価した。		
教科書	地総 704 地理総合 世界に学び地域へつなぐ	地総 702 地理総合	地総 706 地理総合 世界を学び地域をつくる
発行	二宮書店	実教出版	第一学習社
観点①	第1部では、地図・GISの技能について実践を交えながら段階的に習得できるよう工夫が施されている。	第1部では、地図・GISの技能について基礎的な知識を習得できるよう構成されている。	第1部では、地図・GISの技能について実社会での活用事例を中心に学習できるよう構成されている。
観点②	第2部では、国際理解と国際協力について、世界諸地域を「自然」「社会」「経済」「開発」など様々な視点に分け、具体的なテーマ学習を構成することが可能で、学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。	第2部では、国際理解と国際協力について、時事的な内容を積極的に採り入れ、具体的なテーマ学習を構成することが可能で、学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。	第2部では、国際理解と国際協力について、豊富で効果的な写真資料を中心に、具体的なテーマ学習を構成することが可能で、学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。
観点③	第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行う特設ページなどの工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。	第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行うための工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。	第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行うための工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。
総合評価	地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」の基礎となる知識・技能も十分に引き上げられている。	地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」の基礎となる知識・技能も十分に引き上げられている。	地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」の基礎となる知識・技能も十分に引き上げられている。

高等学校 教科書選定資料（地理総合）No.2

評価の観点	<p>①第一部について、目標との関連、内容構成を評価した。</p> <p>②第二部について、目標との関連、内容構成を評価した。</p> <p>③第三部について、目標との関連、内容構成を評価した。</p>		
教科書	地総 701 地理総合 Geography		
発行	東京書籍		
観点①	第1部では、地図・GISの技能について実社会での活用事例を中心に学習できるよう構成されている。		
観点②	第2部では、国際理解と国際協力について、生徒に身近な主題を中心に、具体的なテーマ学習を構成することが可能で、学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。		
観点③	第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行うための工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。		
総合評価	地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」の基礎となる知識・技能も十分に取り上げられている。		

高等学校 教科書選定理由（世界史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	世探	702	世界史探究

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・世界史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「世界史探究」（実教出版）を，本校の教育目標・教育課程，生徒の実態を踏まえ，来年度使用教科書に選定した。

「世界史探究」（実教出版）が，他の教科書と比較して優れている点は，次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する，冒頭の問いが明確である。
2. 詳細な記述と注について，歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料が500枚以上掲載されており，資料が豊富である。
4. 地域別のインデックスが付加されており，地域ごとの歴史をつなげて通史的に学ぶことができる。
5. 重要な世界史用語が丁寧に解説されている。
6. 各単元の最後に，本文で学んだことを活用して考察し，表現するまとめの問いが掲載されている。
7. 段階的に考察を深めるような工夫が見られ，グループワークにも対応できるようになっている。
8. 通史を学んだあとに同時代史の視点から知識を整理できるようにテーマが設定されている。
9. 近年注目されているグローバルヒストリーの視点での記述がみられる。
10. 比較，結びつき，社会，ジェンダー，世界と日本，世界と現在という6つの視点から世界史を読み解く工夫が見られる。

高等学校 教科書選定資料（世界史探究）

評価の観点	①入試に対応した、詳細かつ分かりやすい記述について ②「歴史的思考力」の育成について ③「新しい学び」について		
発行	実教出版	東京書籍	山川出版社
記号・番号	世探・702	世探・701	世探・704
観点①	難関大学の論述問題にも十分対応できるよう、因果関係や背景が分かりやすく説明されている。さらに近年の研究成果が分かりやすく盛り込まれている。	精選された内容と歴史の流れを理解しやすい本文記述が見られるもののもう少し量的にあることが望まれる。	バランスよく、分かりやすい丁寧な記述が見られるものの、難関大学の論述問題への対応については少し不安がある。
観点②	資料読解特集ページで、「歴史総合」で身に付けた資料読解の技能や思考力をさらに高める工夫が見られる。入試に問われやすいテーマが豊富に用意されている。	様々な角度から歴史を考える工夫が見られるが、もう少し「歴史総合」との親和性があると良い。	時代の特色をつかむ多様な問いかけが設定されているものの、分野・時代の偏りが見受けられる。
観点③	世界史の多面的・多角的な理解をサポートする様々なコラムや「問い」により、「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現力」の育成が一体となった授業を展開できる工夫が見られる。	歴史的事象について、もう少し多面的・多角的な視点からの本文記述があると良い。	探究活動に取り組みやすい大きな図版や豊富な資料が見られるものの、もう少し多くの記載が望まれる。
総合評価	豊富な資料の提示と、生徒に様々な問題を考えさせるための問いの設定に工夫が凝らされている。知識の習得(通史学習)と歴史的思考力の育成(テーマ史学習)を両立する、新しい学びに対応した構成が、世界史探究の趣旨に合っている。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されているものの内容量についてももう少し詳しい解説などが望まれる。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されているものの内容量についてももう少し詳しい解説などが望まれる。

高等学校 教科書選定理由（日本史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	日探	702	日本史探究

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・日本史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「日本史探究」（実教出版）を，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等を鑑み，来年度使用教科書に選定した。

「日本史探究」（実教出版）が，他の教科書と比較して優れている点は，次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する，冒頭の問いが明確である。また，巻頭で「問い」や「仮説」の作り方を解説しており，主体的な学びを推進する工夫がなされている。
2. 詳細な記述と側注について，歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料・文字資料・地図が600点以上掲載されており，資料が豊富である。
4. 各単元の最後に，本文で学んだことを活用して考察し，表現するまとめの問いが掲載されている。
5. 「日本と世界の結びつき」や「日本の様々な地域」に注目することで，多面的・多角的な考察に到達できるよう工夫がなされている。
6. 歴史的思考を深めていく工夫が見られるとともに，グループワークにも対応できるようになっている。

高等学校 教科書選定資料（日本史探究）

評価の観点	①入試に対応した、詳細かつ分かりやすい記述について ②「歴史的思考力」の育成について ③「新しい学び」について		
発行	実教出版	東京書籍	山川出版社
記号・番号	日探・702	日探・701	日探・705
観点①	歴史事項の因果関係や背景が分かりやすく説明されている。そのため、難関大学の論述問題にも十分対応できる。	精選された歴史事項と歴史の流れを理解しやすい本文記述が見られるが、難関大学の論述問題対応には少し不安がある。	歴史事項について詳細な記述が見られる。一方、事項と事項の関連については読み取りにくい点がある。
観点②	資料読解特集ページにおいて、「歴史総合」で身に付けた技能をさらに高めるために、複数の資料を関連付けるなどの工夫が見られる。また、効果的に配置された年表が歴史的思考を促すものとして活用できる。	時代の特色を把握する資料が設定されているものの、より深く思考するためには年表やグラフがもう少し必要と思われる。	時代の特色を把握する資料が設定されているものの、より深く思考するためには年表やグラフがもう少し必要と思われる。
観点③	「問い」や「仮説」の立て方について巻頭で扱っているとともに内容も充実しており、新しい学びを推進する工夫が見られる。また、様々なコラムにより「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現力」の育成が一体となった授業を展開できる工夫が見られる。	各ページで仮説の例が多く出されているので、学習の助けとなる。一方で、生徒が問いを考えるための手立てについては巻末の特集ページまで扱われていない。	各ページで「問い」を多く設定しているので学習の助けとなる。一方で、生徒が問いを考えるための手立てについては巻末の特集ページまで扱われていない。
総合評価	「問い」の設定のための多様な工夫が見られる。また、歴史的思考力を育成するために、「世界」・「地域」など多面的・多角的な視点などが設定されており、日本史探究の趣旨に適っている。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されているものの、「問い」の表現の仕方や複数の資料から検討するものが望まれる。	全体が時系列的に取り扱われ、歴史的なできごとの背景や因果関係が理解しやすくなるように記述されているものの、「問い」の表現の仕方や複数の資料から検討するものが望まれる。

地理・歴史科 高等学校教科書採択理由書（日本史B）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
7	実教	日B	312	

2. 教科書を使用する学年および種目

		種目
高等学校	第3学年	地理歴史・日本史B

3. 教科書採択の理由

日本史B学習の目的は、わが国の歴史を世界の歴史の中に位置づけて理解し、社会認識・歴史的思考力を形成することである。日本社会の特色を、各時代の人々のさまざまな営みを通してつかむことが求められる。歴史学習を通して豊かな歴史認識を育むことが求められる一方、多彩な日本社会の有り様を、特に東アジア世界の中に位置づけて、個々の事実を正確に習得する基礎基本の学力も大切である。

本教科書は、以下の観点において優れた面をもつ。

①大学入試に必要な事項を網羅

高3で日本史を選択する生徒は、90%以上が大学受験において入試科目として日本史を必要とする。本教科書は大学受験に対応した豊富な学習要素と詳細な記述、大学受験をめざす生徒を意識し、豊富な歴史用語と詳細な本文記述がなされ、豊富な側注で、本文記述を詳細に補足してある。

②効果的な写真・図版を多用

B5変型判を活かし、写真・図版が大きく示されていて見やすいものとなっている。また、写真は約550点、図版は約350点と多用されている。さらに、随所に年表を配するなど、本文記述を補完し、学習効果を高める工夫がなされている。

③充実したテーマ学習

「古代の土地制度」「中世の仏教」「近世の学問の流れ」「日本植民地下の台湾・朝鮮の人々」と見開き2ページのテーマ学習を4か所設定し、本文の内容をさらに掘り下げて学習することができるようになっている。

④近代の金融制度に関する詳細な記述

特に近代の金融制度は、生徒にとって理解が困難な分野である。本教科書は金解禁など近代の金融制度の説明は、分量を増やしていねいに記述がなされ、生徒の理解を助けるものとなっている。

⑤最新の研究成果の導入

これまで「院政と平氏政権」からとなっていた中世の始まりを、「荘園公領制の形成と武士団」からとし、新しい研究成果を反映させる工夫がなされている。

高等学校 教科書選定資料（日本史B）

評価の観点	①教科書の叙述（内容）とサイズ・ボリュームについて ②歴史を何から読み解くか、「歴史と資料」の項目について ③「歴史の説明」の項目について	
発行	実教出版	山川出版社
記号・番号	日B・312	日B・309
観点①	B5変型判を採用しているため、図版や注の記述が充実している。文字資料がゴシック体で記述しており、生徒が読みやすい形式となっている。随所に年表形式の資料があり、生徒の歴史の流れに対する理解を助けるものとなっている。	A5判を採用し、コンパクトな装丁となっている。
観点②	「歴史と資料」は文字史料だけでなく、考古学資料、絵画資料等にも触れられており、歴史の叙述に対しての理解を深めるものとなっている。	「歴史と資料」は「東大寺」の創建から、大仏建立の文字史料・考古学資料等を含めて総合的に歴史を叙述する形式を採用している。
観点③	「歴史の説明」は近世における結婚と離縁を調べるテーマ設定である。現在まで受け継がれていること、現在と異なる点を取り上げて、通説とは異なる点にも言及し、一般的に言われていることが説明のすべてではないこと実感させようとするものである。	
総合評価	豊富な資料・写真・図版を用い、叙述も注での補足を伴いながら充実したものとなっている。	叙述を中心に、ていねいに歴史展開を記している。本教科書に掲載されている史料・図版は同社発行の資料集には掲載がない、という点が難点である。

地理・歴史科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 高等学校 新地理 A
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地 A	308	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第 2 学年	種目 地理歴史・地理 A
------	--------	-----------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

1. 帝国書院 「高等学校 新地理 A」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	国土認識に関わる内容が増え，社会の形成を志向するように内容が構成されている。世界諸地域を主題的に，かつ地理学的に深く学習できる内容構成となっている。「リード」欄で学習指導要領に基づいた学習課題が適切に提示され，「チェック」欄では自己の思考・判断を確認したり，表現したりする学習機会が設けられている。
学習との関連	生活や文化に関する知識や資料が充実しており，主題図は地理 B と同レベルのものが多く，深い学習が可能である。また「ところ変われば」などのコラムを適切に配置することで，比較に基づき地域性を理解しやすい内容構成にもなっている。「現地レポート」欄では，現地の状況を話し言葉で伝えており，生活や文化の特徴が理解しやすくなっている。
他教材との関連	教科書の本文，索引，主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結びついており，また，索引，脚注，用語解説欄が適切に施されているため，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても優れた効果を発揮すると考えられる。

高等学校 教科書選定資料（地理A）

学習指導要領、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に鑑み、以下の観点から他社の教科書
を評価した。

2. 二宮書店「基本地理A」

観点	考察の結果
学習指導要 領との関連	国土認識に関わる内容が増え、社会の形成を志向するように内容が構成されて いる。発展的な内容を扱うトピックやコラム、地理的技能に習熟するページが 設けられており、また目次には「日本」「地域」「課題」など、日本や世界の 一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が整備されている。
学習との関 連	生活や文化に関する知識や資料が充実し、深い学習が可能である。コラム等 を適切に配置することで、比較に基づき地域性を理解しやすい内容構成にもな っている。但し、「ステップアップ」欄の内容が、有意義な内容であるが、やや 学際的な内容が多い。継続して地理Bを履修する生徒の多い本校が重視す る、地理Bの内容に通じる発展的内容はやや少なめである。
他教材との 関連	教科書の本文、索引、主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結び ついており、また、索引、脚注、用語解説欄が適切に施されているため、生徒 が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

3. 第一学習社「地理A 新版」

観点	考察の結果
学習指導要 領との関連	国土認識に関わる内容が増え、社会の形成を志向するように内容が構成され ている。発展的な内容を扱うトピックやコラム、地理的技能に習熟するページ が設けられており、また目次には「日本」「地域」「課題」など、日本や世界 の一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が整備されている。
学習との関 連	生活や文化に関する知識や資料が充実し、「特集」や「ワーク」などのペー ジの充実により多様な学習が可能である。コラム、図表、写真等が数多く掲載 されており、様々な地域を理解しやすい内容構成になっている。但し、コラム、 図表、写真等が本文よりも大きなウェイトを占める印象を受け、やや学際的な 内容も多い。継続して地理Bを履修する生徒の多い本校が重視する、地理Bの 内容に通じる発展的内容はやや少なめである。
他教材との 関連	教科書の本文、索引、主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結び ついており、また、索引、脚注、用語解説欄が適切に施されているため、生徒 が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

地理・歴史科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 新詳地理 B
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地 B	304	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第 3 学年	種目 地理歴史・地理 B
------	--------	-----------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

1. 帝国書院「新詳地理 B」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	国土認識を高め，社会の形成に関与できるように内容が構成されている。発展的な内容を扱うトピックやコラム，地理的技能に習熟するページが数多く設けられており，日本や世界の一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が充実している。
学習との関連	地形と気候に関する知識や資料が充実しており，地殻変動や大気の大循環などを地球レベルで，そのメカニズムを理解しやすい内容構成になっている。系統地理的分野においては重要な統計資料，およびそれに基づく主題図が数多く適切に配置されており，生徒が統計資料や主題図に基づき論理的に思考・判断する機会を持つことができる。また，地誌分野では，その国や地域に関する年表が示されているため，地域の形成や変容を理解しやすくなっている。
他教材との関連	教科書の本文，索引，主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結びついており，また，索引，脚注，用語解説欄が適切に施されており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても優れた効果を発揮すると思われる。

高等学校 教科書選定資料（地理B）

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の観点から他社の教科書
を評価した。

2. 二宮書店 新編「詳解地理B（改訂版）」

観点	考察の結果
学習指導要 領との関連	国土認識に関わる内容が増え，社会の形成を志向するように内容が構成されて いる。発展的な内容を扱うトピックやコラム，地理的技能に習熟するページ が設けられており，また目次には「日本」「地域」「課題」など，日本や世界 の一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が整備されている。
学習との関 連	地形と気候に関する知識や資料が充実しており，地殻変動や大気の大循環な どについて，メカニズムを理解しやすい内容構成になっている。系統地理的分 野においては重要な統計資料，およびそれに基づく主題図が適切に配置されて おり，生徒が統計資料や主題図に基づき論理的に思考・判断する機会を持つこ とができる。また，地誌分野では，その国や地域に関する年表が示されている ため，地域の形成や変容を理解しやすくなっている。
他教材との 関連	教科書の本文，索引，主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結び ついており，また，索引，脚注，用語解説欄が適切に施されているため，生徒 が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。「ポ イント補説」と称する部分が用語解説から発展的内容まで多岐にわたるため， 生徒が主体的に学習するうえで工夫や教員の支援が必要になると考える。その 内容は非常に充実したものとなっている。

3. 「地理B」（東京書籍）

観点	考察の結果
学習指導要 領との関連	国土認識に関わる内容が増え，社会の形成を志向するように内容が構成され ている。発展的な内容を扱うトピックやコラム，地理的技能に習熟するページ が設けられている。章の冒頭には学習の意味や位置づけが理解できるようにリ ード文が掲載され，学習の指針が明確に示されている。
学習との関 連	地形と気候に関する知識や資料が充実しており，地球やその自然環境のメカ ニズムを理解しやすい内容構成になっている。系統地理的分野においては統計 資料，およびそれに基づく主題図が適切に配置されており，生徒が統計資料や 主題図に基づき思考・判断する機会を持つことができる。また，地誌分野では， その国や地域の形成や変容を理解しやすくなっている。
他教材との 関連	教科書の本文，索引，主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結び ついており，また，索引，脚注，用語解説欄が適切に施されているため，生徒 が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

地理・歴史科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 新詳高等学校地図
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地図	310	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第2・3学年	種目 地理歴史・地理 A, 地理 B
------	--------	-----------------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

帝国書院「新詳高等地図」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	世界諸地域を多用な視点から深く学習するための内容構成となっている。世界諸地域の地域区分には新たな地域区分が加わり一層多様になり，都市の市街地図も充実したものとなっている。それにより，ローカル，ナショナル，グローバルなど，様々な空間や社会のスケールを意識して現代の世界諸地域の学習を行うことが可能になっている。
学習との関連	主題図がとくに地理学の成果を活用した重要な地図が多く，地理Bの学習に十分な内容がそろい，深い学習が可能である。また地理Bの教科書とも関連付けが十分になされており，高校Ⅲ年からの地理Bの学習において効果を発揮すると考える。
他教材との関連	同社の教科書と有機的に結びついており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

上記の考察を踏まえ，採択教科書との関連において，本書の採択を判断した。

高等学校 教科書選定資料（地図）

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の観点から他社の教科書を評価した。

二宮書店「詳解 現代地図」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	世界諸地域を多用な視点から学習するための内容構成となっている。世界諸地域の地域区分が多様であり，都市の市街地図も充実したものとなっている。それにより，ローカル，ナショナル，グローバルなど，様々な空間や社会のスケールを意識して現代の世界諸地域の学習を行うことが可能になっている。
学習との関連	主題図が充実し，地理Bの学習に必要な内容がそろい，幅広い学習が可能である。また地理Bの教科書とも関連付けがなされており，高校3年からの地理Bの学習において効果を発揮すると考える。
他教材との関連	同社の教科書とも有機的に結びついており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

高等学校 教科書選定理由（公共）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	公共	711	高等学校 新公共

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	公民・公共
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 学習指導要領の新科目の理念を反映した構成になっていること。
- ② 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
- ③ 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
- ④ 課題を探究する活動や議論の中で生徒が主体的に活用して知識を獲得し問題を整理するのに適していること。

- ・ 公共のねらいを意識したテーマ学習を想定した構成になっていること。
- ・ 内容項目や概念ごとに短いまとまりを積み重ねる構成になっており，テーマ学習での主体的な活用がしやすい。記述も平易で生徒の主体的な活用に向いている。
- ・ 情報量としてはより多い他社もあるが，旧来の「現代社会」の構成を維持しており「公共」固有の狙いの達成には不向きなものであること。
- ・ 他社に比べ視覚的に整理された関心を高めるレイアウトになっていること。

高等学校 教科書選定資料（公共）

評価の観点	① 学習指導要領の新科目の理念を反映した構成になっていること。 ② 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。 ③ 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。 ④ 課題を探究する活動や議論の中で生徒が主体的に活用して知識を獲得し問題を整理するのに適していること。		
発行	東京書籍	教育図書	第一学習社
記号・番号	公共・701	公共・702	公共・711
構成	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 法的な主体となる私たち 政治的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の扉 公共と人 公共と倫理 公共の基本原理 ・現代社会の諸課題 法 政治 経済 ・持続可能な社会へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 法的な主体となる私たち 政治的な主体となる私たち 経済的な主体となる私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち
記述・編集・構成上の特徴	・基本的には旧「現代社会」や「政治・経済」を踏襲したページを追って授業を進めるのに向いた編集となっている。他，数研出版，実教出版，清水書院等は同様の構成となっているが，その中でも情報量としては多い。 ・テーマ学習はコラム的に扱われている。	・公共らしいテーマ学習を進めることを想定した編集となっている。 ・設定されたテーマでの学習を前提とした構成で独自のテーマには使いにくい。 ・コラムの問いは興味を引くが，そこから専門的な世界への導入は限定的で，考える入り口という書き方になっている。	・内容項目や概念ごとに短まとまりを積み重ねる構成になっており，テーマ学習での主体的な活用がしやすい。 ・知識内容はやや少なくいが記述が平易で生徒による活用には使いやすい。 ・類似の編集に東京法令出版があるが知識内容の正確さやや問題がある。
評価	情報量が多いが，ページを追って授業をするのに向いた構成で，課題を探究する活動や議論の中で生徒が主体的に活用して自ら知識を獲得するには不向きである。	テーマ学習を前提としているのは良いが，学校独自のテーマで学習を構成する場合には使いにくさがある。	テーマ学習で活用するのに適した構成であるが，内容は少なめである。

高等学校 教科書選定理由（政治・経済）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	政経	309	高等学校 改訂版 政治・経済

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	公民・政治・経済
------	------	----------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
 - ② 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
 - ③ 発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施，教育実習，進学指導等をふまえ，本校で生徒に求める予復習・自学自習での活用にも適していること。
- ・ 情報量が過不足無く十分であるとともに説明が平易で，生徒自身による自学自習にも効果的である。
 - ・ 情報量としてはより多い他社もあるが，教科書は言葉の提示のみにとどまっている部分が多いのに対して，説明が平易で生徒が自分で読んで理解をすすめる予復習をすすめることが可能な表現になっているため，本校授業で目指す一歩踏み込んだ内容の授業を行う場合に生徒に求めたい自学による予復習にも適した教科書であること。
 - ・ 他社に比べ視覚的に整理されたレイアウトになっていること。

高等学校 教科書選定資料（政治・経済）

評価の観点	① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。 ② 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。 ③ 発展的な授業内容の実施，教育実習，進学指導等をふまえ，本校で生徒に求める自学自習での活用にも適していること。		
発行	第一学習社	実教出版	東京書籍
記号・番号	政経・309	政経・312	政経・311
構成	民主政治の基本原則と日本国憲法 現代の国際政治と日本 現代経済の仕組みと特質 国民経済と国際経済 現代社会の諸課題	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本的正確 日本の政治機構 現代日本の政治 現代の国際政治 経済社会の変容 現代経済の仕組み 現代経済と福祉の向上 世界経済と日本 現代社会の諸課題	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原則 日本の政治機構 現代政治の特質と課題 現代の国際政治 現代の資本主義経済 現代経済の仕組み 日本経済の発展と産業構造の変化 福祉社会と日本経済の課題 国民経済と国際経済 現代社会の諸課題
記述・編集・構成上の特徴 (特徴の現れる箇所として) 基本的人権に関わる判例の扱いと，市場メカニズムについての記述を例示した)	・小單元ごとに問いを設定してある。 ・判例が諸権利のページごとに均等に整理してあり各権利と判例の関係がわかりやすい(10例)。 ・市場のしくみについて説明が多くはないが完全競争である必要がある点に言及し，需要曲線のシフトについてコラムでわかりやすく説明されている。	・小單元ごとに問いを設定してある。 ・判例は豊富で(17例)説明を要するものも含まれているが説明が少ない。 ・市場経済について専門的な用語が使用されコラムで高度な内容もあつまっているが説明が十分とはいえず教師による補助説明が必須であり，詳細に扱う内容の選択にも疑問が残る。	・小單元ごとに単文で整理してある。 ・判例の提示が少なく(8例)各権利との関係性がわかりにくいレイアウトである。 ・市場メカニズムの説明が簡素であり応用的な問題に対応するには追加で学習する内容が必須である。
評価	過不足なく内容が網羅されており，生徒の自学においてもわかりやすいレイアウトや説明がなされている。	扱っている語句の量は最も多いが，内容の理解につながる説明が十分でなく，レイアウトもやや分かりにくい。	過不足なく内容が網羅されているが相対的には少なめな上，内容理解のための説明の不足する部分がある。

公民科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
35	清水	倫理	308	高等学校 新倫理 新訂版

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第3学年	公民・倫理
------	------	-------

3. 教科書採択の理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

判断基準項目

- ①多様で充分豊富な内容をふくんでいること。
- ②抽象的事項を説明するのに，正確さと分かりやすさという条件を，適切に満たしていること。
- ③視覚的な資料等，理解の補助的な工夫がなされているか。
- ④大学受験に関しても，特にセンター試験に対応するのに十分な事項や人物についての記述を含んでいること。

- ・本文の説明が専門性に照らして最も適切だと判断できる。
- ・取り扱う内容も最も豊富であり，さらに大学受験センター試験にも十分対応できる。

高等学校 教科書選定資料（倫理）

評価の観点	①多様で充分豊富な内容をふくんでいること。 ②抽象的事項を説明するのに、正確さと分かりやすさという条件を、適切に満たしていること。 ③視覚的な資料等，理解の補助的な工夫がなされているか。 ④大学受験に関しても，特にセンター試験に対応するのに十分な事項や人物についての記述を含んでいること。		
発行	東京書籍	実教出版	清水書院
記号・番号	倫理・311	倫理・301	倫理・308
構成	・青年期の課題と自己形成 ・人間としての自覚 ・国際社会に生きる日本人の自覚 ・現代の生きる人間の倫理 ・現代の課題を考える	・青年期の課題と自己形成 ・人間としての自覚 ・日本人としての自覚 ・現代に生きる人間の倫理 ・現代の諸課題と倫理	・現代に生きる自己の課題 ・人間としての自覚と生き方 ・現代社会と倫理 ・国際社会に生きる日本人の自覚 ・現代の諸課題と倫理
記述・編集・構成上の特徴	・写真や図版は多く，情報量も多い。 ・説明は平易であるが不十分な面もある。 ・レイアウトは整理されている。	・写真や図版は多く，情報量も多いが脚注での記述が多い。 ・やや説明が不十分で自学にはむつかしさがあ る。 ・レイアウトは整理されている。	・情報量は充実しており正確かつ記述もわかりやすい。 ・シンプルだが適切な図や資料による工夫が見られる。 ・整理されたレイアウトになっている。
評価	センター試験に対応するのに十分な事項や人物についての記述を含んでいるが，内容がやや少なく，生徒による自学には不向きである。	センター試験に対応するのに十分な事項や人物についての記述を含んでいるが，独自教材との組合せや生徒による自学には不向きである。	本文の正確性が最も高いと判断できる。 センター試験に対応するのに十分な事項や人物についての記述を含んでおり，独自教材との組合せにも適している。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅰ	712	数学Ⅰ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	数学・数学Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第1章. 数と式」「第2章. 集合と命題」「第3章. 2次関数」「第4章. 図形と計量」「第5章. データの分析」の5つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
- ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。

また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

このように本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定資料（数学・数学Ⅰ）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態に照らして、次の観点に従って比較・検討を行う。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 数学的な見方や考え方を養う主体的な探究活動の充実 ③ 学習内容の深化と発展的な学習内容の充実 ④ 中学校数学や他の科目との接続 ⑤ その他			
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版
記号・番号	数Ⅰ・701	数Ⅰ・706	数Ⅰ・709	数Ⅰ・712
教科書名	数学Ⅰ Advanced	数学Ⅰ Progress	数学Ⅰ	数学Ⅰ
検定年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・項数	A5・230	A5・218	A5・220	A5・246
内容構成【観点①】	①数と式 ②集合と論証 ③2次関数 ④図形と計量 ⑤データの分析	①数と式 ②集合と論証 ③2次関数 ④図形と計量 ⑤データの分析	①数と式 ②2次関数 ③集合と命題 ④図形と計量 ⑤データの分析	①数と式 ②集合と命題 ③2次関数 ④図形と計量 ⑤データの分析
紙面の構成の特徴【観点①】 【観点②】 【観点③】	具体的な場面から用語や定義が丁寧に説明され、基本的には本文と「例」「例題」「問題」で構成されている。考え方のポイントとなる部分を色で強調する工夫がなされている。また、例題には、それに対応する節末問題の番号が明示されている。例題のレベルや配列は適切で、一部では例題の「方針」が明示されている問題もある。図表の配置や色遣いも適切である。	色遣いが豊富で、問題場面をイメージさせる具体的な挿絵も多い。本文に加えて「例」「例題」「応用例題」「練習」「問」で構成されている。さらに「Introduction」では、すでに学んだことの復習や、新しくつながる身近な題材など単元のつながりが意識できるように工夫されている。	図や色を適切に用いながら丁寧に記述されている。本文に加えて「例」「例題」「問」で構成されている。なお、「Approach」では、学習した事柄をもとに、課題を通して新しい考え方が学べるように工夫されている。さらに「視点」「注目」では、内容を広くとらえて、多様な考え方が身につけられるようになっている。	「例」「例題」「問」「練習」で構成され、レベルの高い例題については、＜解説＞として解決の指針が必要に応じて示してある。色使いも落ち着いており、考え方をサポートする図も適切に配置してある。また、「深める」として、見方を変えて考える問題が配置され、内容の理解を深めることができる。基本から標準レベルの問題と発展問題のバランスがよいのが特徴である。
演習問題【観点①】	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「練習問題」をA・Bのレベルに分けて10ページ配置。また、巻末には各章の学習内容を補充するための「演習問題」がある。	節ごとに「説末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて10ページ配置。	節ごとに「節末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて10ページ配置。	節ごとに「説末問題」を置いている。また、各章末に「演習問題」をA・Bのレベルに分けて10ページ配置。
主体的な学習を促す題材【観点②】	章ごとに「活用」として、学習した内容を活用して考察する課題として6つの題材を掲載。	巻末に「課題学習」のテーマとして5つの題材を掲載。	章ごとに「課題学習」のテーマとして5つの題材を掲載。	巻末に「課題学習」のテーマとして7つの題材を掲載。
数学への興味・関心を喚起したり、数学の有用性を感じさせるための工夫【観点②】	興味・関心を促す題材として「探究」を5つ掲載。	興味・関心を促す題材として「コラム」を4つ掲載。	「Math Activity」では、章のはじめに日常生活や社会に関連する課題を提示している。それとは別に、学習内容から派生した興味深い内容を「コラム」として取り上げている。	興味・関心を促す題材として「コラム」を3つ掲載。「数学と〇〇」にて、数学と他教科、数学と日常生活など、身の回りにおける数学について取り上げている。
発展的な学習の設定数【観点③】	各章に「発展」「参考」として学習内容と関わりのある発展的な内容を16掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を14掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を12掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を14掲載。
既習事項との関連性の記述【観点④】	中学校の学習事項が巻末にまとめられている。	特別な記述はなし。	特別な記述はなし。	特別な記述はなし
デザイン・配色【観点⑤】	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーに対応	カラーユニバーサルデザインに配慮
その他【観点⑤】	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	特になし。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学A）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数A	712	数学A

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	数学・数学A
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第1章. 場合の数と確率」「第2章. 図形の性質」「第3章. 数学と人間の活動」の3つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

このように本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定資料（数学・数学 A）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態に照らして、次の観点に従って比較・検討を行う。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 数学的な見方や考え方を養う主体的な探究活動の充実 ③ 学習内容の深化と発展的な学習内容の充実 ④ 中学校数学や他の科目との接続 ⑤ その他			
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版
記号・番号	数 A・701	数 A・706	数 A・709	数 A・712
教科書名	数学 A Advanced	数学 A Progress	数学 A	数学 A
検定年	令和 3 年	令和 3 年	令和 3 年	令和 3 年
判型・項数	A5・190	A5・170	A5・164	A5・202
内容構成【観点①】	①場合の数と確率 ②図形の性質 ③数学と人間の活動	①場合の数と確率 ②図形の性質 ③数学と人間の活動	①場合の数と確率 ②整数の性質 ③図形の性質	①場合の数と確率 ②図形の性質 ③整数の性質
紙面の構成の特徴【観点①】 【観点②】 【観点③】	具体的な場面から用語や定義が丁寧に説明され、基本的には本文と「例」「例題」「問題」で構成されている。考え方のポイントとなる部分を色で強調する工夫がなされている。また、例題には、それに対応する節末問題の番号が明示されている。例題のレベルや配列は適切で、一部では例題の「方針」が明示されている問題もある。図表の配置や色遣いも適切である。	色遣いが豊富で、問題場面をイメージさせる具体的な挿絵も多い。本文に加えて「例」「例題」「応用例」「練習」「問」で構成されている。さらに「Introduction」では、すでに学んだことの復習や、新しくつながる身近な題材など単元のつながりが意識できるように工夫されている。	図や色を適切に使いながら丁寧に記述されている。本文に加えて「例」「例題」「問」で構成されている。なお、「Approach」では、学習した事柄をもとに、課題を通して新しい考え方を学べるように工夫されている。さらに「視点」「注目」では、内容を広くとらえて、多様な考え方が身につけられるようになっている。	「例」「例題」「問」「練習」で構成され、レベルの高い例題については、＜解説＞として解決の指針が必要に応じて示してある。色使用も落ち着いており、考え方をサポートする図も適切に配置してある。また、「深める」として、見方を変えて考える問題が配置され、内容の理解を深めることができる。基本から標準レベルの問題と発展問題のバランスがよいのが特徴である。
演習問題【観点①】	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「練習問題」を A・B のレベルに分けて 6 ページ配置。また、巻末には各章の学習内容を補充するための「演習問題」がある。	節ごとに「説末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」を A・B のレベルに分けて 6 ページ配置。	節ごとに「節末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」を A・B のレベルに分けて 6 ページ配置。	節ごとに「説末問題」を置いている。また、各章末に「演習問題」を A・B のレベルに分けて 6 ページ配置。
主体的な学習を促す題材【観点②】	巻末に「活用」として、学習した内容を活用して考察する課題として 1 つの題材を掲載。	巻末に「数学のあゆみ」として、数学が発展してきた歴史 7 ページ掲載。	巻末に「思考力をみがく」として 3 つの題材を掲載。	数学と〇〇にて、数学と他教科、数学と日常生活など、身の回りにある数学について取り上げている。
数学への興味・関心を喚起したり、数学の有用性を感じさせるための工夫【観点②】	興味・関心を促す題材として「探究」を 6 つ掲載。	興味・関心を促す題材として「コラム」を 3 つ掲載。	「Math Activity」では、章のはじめに日常生活や社会に関連する課題を提示している。それとは別に、学習内容から派生した興味深い内容を「コラム」として取り上げている。	興味・関心を促す題材として「コラム」を 2 つ掲載。
発展的な学習の設定数【観点③】	各章に「参考」として学習内容と関わりのある発展的な内容を 9 掲載。	各章に「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を 8 掲載。	各章に「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を 7 掲載。	「発展」として合同式が掲載されている。また、「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を 10 掲載。
既習事項との関連性の記述【観点④】	中学校の学習事項が巻末にまとめられている。	特別な記述はなし。	特別な記述はなし。	特別な記述はなし
デザイン・配色【観点⑤】	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーに対応	カラーユニバーサルデザインに配慮
その他【観点⑤】	数 I の集合に関する内容を巻末に「資料」として掲載。	数 I の集合に関する内容は本文中に記載。	数 I の集合に関する内容を 1 章の前に「序章」として掲載。巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	数 I の集合に関する内容を 1 章の前に「準備」として掲載。巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅱ	709	数学Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

本書は「1. 式と証明」「2. 複素数と方程式」「3. 図形と方程式」「4. 三角関数」「5. 指数関数と対数関数」「6. 微分法と積分法」の6つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・巻末の課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
- ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。

また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

このように本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定資料（数学・数学Ⅱ）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態に照らして、次の観点に従って比較・検討を行う。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 数学的な見方や考え方を養う主体的な探究活動の充実 ③ 学習内容の深化と発展的な学習内容の充実 ④ 中学校数学や他の科目との接続 ⑤ その他		
発行	東京書籍	啓林館	数研出版
記号・番号	数Ⅱ・701	数Ⅱ・706	数Ⅱ・709
教科書名	数学Ⅱ Advanced	数学Ⅱ	数学Ⅱ
検定年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・項数	A5・273	A5・255	A5・280
内容構成 【観点①】	①方程式・式と証明 ②図形と方程式 ③三角関数 ④指数関数・対数関数 ⑤微分と積分	①式と証明・高次方程式 ②図形と方程式 ③三角関数 ④指数関数と対数関数 ⑤微分と積分	①式と証明 ②複素数と方程式 ③図形と方程式 ④三角関数 ⑤指数関数と対数関数 ⑥微分法と積分法
紙面の構成の特徴 【観点①】 【観点②】 【観点③】	具体的な場面から用語や定義が丁寧に説明され、基本的には本文と「例」「例題」「問」で構成されており、図表の配置や色遣いも適切である。考え方のポイントとなる部分を色で強調されたり、学習内容ごとのまとめがなされるなどの工夫がある。また、例題や問の一部には、それに対応する節末問題の番号が明示されている。	図や色を適切に用いながら丁寧に詳細に記述されている。本文に加えて「例」「例題」「問」で構成されている。なお、例題には選択的に扱うことが出来るように印をつけて工夫してある。 2次方程式の解の分離の問題に関して、数学Ⅰで学習した解法との関連や、累乗で表された数の最高位の数について「研究」で扱っている。	「例」「例題」「問」「練習」で構成され、レベルの高い例題については、＜解説＞として解決の流れが概略として必要に応じて示してある。色使いも落ち着いており、考え方をサポートする図も適切に配置してある。また、発展的に扱う問題が適切に「研究」に位置づけられている。基本から標準レベルの問題と発展問題のバランスがよいのが特徴である。
演習問題 【観点①】	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「練習問題」をA・Bのレベルに分けて64題配置。また、巻末には「演習問題」が20題あり、「問題を解くときに働く見方・考え方」では、例題を振り返りながら、考え方の整理を行っている。	節ごとに「節末問題」を置いている。（計89題）また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて65題配置。	節ごとに「問題」を置いている。また、（計97題）各章末に「演習問題」をA・Bのレベルに分けて59題配置。また、巻末には「総合問題」が8題あり、特に思考力・判断力・表現力を問う内容になっている。
主体的な学習を促す題材 【観点②】	参考として、発展的な学習内容を取り上げ、主体的に学習に取り組むことのできるようにしている。	各章末および巻末で課題学習のテーマにつながる内容を取り上げ、主体的に学習に取り組むことのできるようにしている。	巻末に課題学習のテーマにつながる内容を6つ取り上げ、主体的に学習に取り組むことのできるようにしている。
数学への興味・関心を喚起したり、数学の有用性を感じさせるための工夫 【観点②】	学習内容を日常や社会の事象に活用させる内容や、学習内容を数学的に探究させる内容が全部で15個取り上げられており、生徒の興味・関心を高める課題が扱われている。	数学が日常で役立つ例を「数学探訪」として5つ紹介。それとは別に、学習内容から派生した興味深い内容を「コラム」として取り上げている。	節末や巻末に興味・関心を促す題材として「コラム」「数学と〇〇」を6つ掲載。
発展的な学習の設定数 【観点③】	各章に「発展」「参考」として学習内容と関わりのある発展的な内容を8つ掲載。	各章に「研究」「発展」として学習内容と関わりのある発展的な内容を10掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を14掲載。
既習事項との関連性の記述 【観点④】	特別な記述はなし。	数学Ⅱの学習事項が表紙裏にまとめられている。	特別な記述はなし
デザイン・配色 【観点⑤】	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮
その他 【観点⑤】	巻末には、数学の用語の英語表記に加え、数学的思考方法が例とともに紹介されている。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	主な数学的用語の英語表記を巻末に掲載。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学B）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数B	710	数学B

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学B
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

本書は「1. 数列」「2. 統計的な推測」「3. 数学と社会生活」の3つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。

・巻末の課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。

・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述してあり，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。

・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。

・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。

また，字体は読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

このように本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定資料（数学・数学B）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態に照らして、次の観点に従って比較・検討を行う。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 数学的な見方や考え方を養う主体的な探究活動の充実 ③ 学習内容の深化と発展的な学習内容の充実 ④ 中学校数学や他の科目との接続 ⑤ その他		
発行	東京書籍	啓林館	数研出版
記号・番号	数B・701	数B・707	数B・710
教科書名	数学B Advanced	数学B	数学B
検定年	令和4年	令和4年	令和4年
判型・項数	A5・152	A5・144	A5・160
内容構成【観点①】	①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活	①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活	①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活
紙面の構成の特徴【観点①】 【観点②】 【観点③】	具体的な場面から用語や定義が丁寧に説明され、基本的には本文と「例」「例題」「問」で構成されており、図表の配置や色遣いも適切である。考え方のポイントとなる部分を色で強調されたり、学習内容ごとのまとめがなされるなどの工夫がある。また、例題や問の一部には、それに対応する節末問題の番号が明示されている。	図や色を適切に用いながら丁寧に詳細に記述されている。本文に加えて「例」「例題」「問」で構成されている。なお、例題には選択的に扱うことが出来るように印をつけて工夫してある。また、「approach」や「視点」「注目」等、課題から学習するポイントをわかりやすく示すなどの工夫がなされている。	「例」「例題」「問」「練習」で構成され、レベルの高い例題については、＜解説＞として解決の流れが概略として必要に応じて示してある。色使いも落ち着いており、考え方をサポートする図も適切に配置してある。また、発展的に扱う問題が適切に「研究」に位置づけられている。基本から標準レベルの問題と発展問題のバランスがよいのが特徴である。
演習問題【観点①】	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「練習問題」をA・Bのレベルに分けて35題配置。また、巻末には「演習問題」が6題あり、「問題を解くときに働く見方・考え方」では、例題を振り返りながら、考え方の整理を行っている。	節ごとに「節末問題」を置いている。（計32題）また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて21題配置。	節ごとに「問題」を置いている。また、（計24題）各章末に「演習問題」をA・Bのレベルに分けて17題配置。また、巻末には「総合問題」が3題あり、特に思考力・判断力・表現力を問う内容になっている。
主体的な学習を促す題材【観点②】	参考として、発展的な学習内容を取り組むことのできるようにしている。	各章末および巻末で課題学習のテーマにつながる内容を取り上げ、主体的に学習に取り組むことのできるようにしている。	巻末に課題学習のテーマにつながる内容を2つ取り上げ、主体的に学習に取り組むことのできるようにしている。
数学への興味・関心を喚起したり、数学の有用性を感じさせるための工夫【観点②】	学習内容を日常や社会の事象に活用させる内容や、学習内容を数学的に探究させる内容が全部で8個取り上げられており、生徒の興味・関心を高める課題が扱われている。	数学が日常で役立つ例を「思考力を養う」として4つ紹介。それとは別に、学習内容から派生した興味深い内容を「コラム」として取り上げている。	節末や巻末に興味・関心を促す題材として「コラム」「数学と〇〇」を4つ掲載。
発展的な学習の設定数【観点③】	各章に「発展」「参考」として学習内容と関わりのある発展的な内容を8つ掲載。	各章に「研究」「発展」として学習内容と関わりのある発展的な内容を7つ掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を5つ掲載。
既習事項との関連性の記述【観点④】	特別な記述はなし。	数学Bの学習事項が表紙裏にまとめられている。	特別な記述はなし
デザイン・配色【観点⑤】	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮
その他【観点⑤】	巻末には、数学の用語の英語表記に加え、数学的思考方法が例とともに紹介されている。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	主な数学的用語の英語表記を巻末に掲載。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅲ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅲ	322	改訂版 数学Ⅲ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	数学・数学Ⅲ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 複素数平面」「2. 式と曲線」「3. 関数」「4. 極限」「5. 微分法」「6. 微分法の応用」「7. 積分法」「8. 積分法の応用」の8つの章で構成されている。各節では，具体的な場面を念頭に置きながら学習目標をはっきりさせたうえで例が提示されており，数学Ⅲという抽象度の高い内容に関しても，基礎・基本の定着という面で丁寧な配慮がなされている。図や表についても学習者の活動をサポートするように効果的に配置されており，色遣いや分量も適切である。また，基本的な考え方を発展的に利用することで解決することのできる「研究」も適切に位置づけられており，授業において数学的な見方や考え方を高い次元に引き上げていくための工夫を柔軟に行うことが出来る。また，数学Ⅲの学習内容を越えた内容も「発展」として掲載されており，他の科目との接続を意識した適切な学習指導が可能である。全体的に基礎的・基本的な概念の理解と定着にとって優れた構成であり，応用問題や発展的な内容へのつながりもスムーズである。また，数学の有用性や発展性を感じさせる話題が「コラム」として配置されている。

このように本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても適切である。さらに，本文の内容に加えて「発展」や「研究」を効果的に利用することを通して，生徒の主体的・協働的な学習活動の展開が可能となり，本校数学科の指導目標に沿ったものとなっている。

高等学校 教科書選定資料（数学・数学Ⅲ）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態に照らして、次の観点に従って比較・検討を行う。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 数学的な見方や考え方を養う主体的な探究活動の充実 ③ 学習内容の深化と発展的な学習内容の充実 ④ 中学校数学や他の科目との接続 ⑤ その他				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	数Ⅲ・315	数Ⅲ・317	数Ⅲ・319	数Ⅲ・322	数Ⅲ・326
教科書名	数学Ⅲ Advanced	数学Ⅲ 新訂版	詳説 数学Ⅲ 改訂版	改訂版 数学Ⅲ	数学Ⅲ
検定年	平成 30 年	平成 30 年	平成 30 年	平成 30 年	平成 30 年
判型・項数	A5・291	A5・279	A5・295	A5・292	A5・272
内容構成【観点①】	①平面上の曲線 ②複素数平面 ③関数と極限 ④微分 ⑤微分的应用 ⑥積分とその応用	①複素数平面 ②平面上の曲線 ③関数と極限 ④微分法 ⑤積分法	①平面上の曲線 ②複素数平面 ③数列の極限 ④関数の極限 ⑤微分法 ⑥積分法	①複素数平面 ②式と曲線 ③関数 ④極限 ⑤微分法 ⑥微分法的应用 ⑦積分法 ⑧積分法的应用	①複素数平面 ②式と曲線 ③関数と極限 ④微分法 ⑤積分法
紙面の構成の特徴【観点①】 【観点②】 【観点③】	具体的な場面から用語や定義が丁寧に説明され、基本的には本文と「例」「例題」「問」で構成されている。考え方のポイントとなる部分を色で強調する工夫がなされている。また、本文や例題には、それに関連する「発展」のページが明示されている部分もある。例題のレベルや配列や量は適切である。また、一部の例題には「考え方」が明示されている問題もある。	色使いが落ち着いており、丁寧な記述がなされている。本文に加えて「例」「例題」「応用例題」「問」「練習」で構成されている。発展的な内容のページを「数学の道」として後ろにまとめ、その内容に関する「演習」問題もある。図表の配置も適切で、重要な考え方や公式は色で塗って強調してある。	図や色を適切に用いながら丁寧に記述されている。本文に加えて「例」「例題」「問」で構成されている。全体的に丁寧な説明がなされ、関連する発展的な問題も充実している。節末の問題には、対応する本文ページが示してあり、復習に取り組みやすい配慮がしてある。発展的な内容や、数学と日常との関わりを紹介する例も豊富に掲載されている。	「例」「例題」「問」「練習」で構成され、レベルの高い例題については、解決の糸口やヒントが「解説」として必要に応じて示してある。色使いも落ち着いており、考え方をサポートする図も適切に配置してある。また、発展的に扱うことが可能な問題が適切に「研究」に位置づけられている。基本から標準レベルの問題と発展問題のバランスがよいのが特徴である。	本文に続いて「例」「例題」「探求例題」「問」という流れになっている。「例題」の解答の中にも、必要に応じて「考え方」が示してあったり、重要なポイントが（解答以外の記述形式で）色付きで入ったりするなど、丁寧な記述となっている。発展的な問題も「探究例題」や「TRY チャレンジ例題」として扱ってある。
演習問題【観点①】	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「練習問題」をA・Bのレベルに分けて75題配置。また、巻末には「演習問題」がある。	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて60題配置。	節ごとに「節末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて63題配置。	節ごとに「問題」を置いている。また、各章末に「演習問題」をA・Bのレベルに分けて57題配置。	節ごとに「節末問題」を置いている。また、各章末に「章末問題」をA・Bのレベルに分けて57題配置。
主体的な学習を促す題材【観点②】	巻末に「アクティブ・ラーニング」としてペアやグループで探求するテーマを4つ掲載。また、数学的な思考方法についても言及。		特になし。		
数学への興味・関心を喚起したり、数学の有用性を感じさせるための工夫【観点②】	興味・関心を促す題材として、各章ごとに「コラム」を7つ掲載。	興味・関心を促す題材として「コラム」を9つ掲載。	数学が日常で役立つ例を「数学探訪」として6つ紹介。それとは別に、学習内容から派生した興味深い内容を「コラム」として取り上げている。さらに、数学Ⅲの内容を総合的・発展的に扱った事柄を「Beyond Math」として掲載。	興味・関心を促す題材として「コラム」を6つ掲載。	数学Ⅲの内容に関連する数学史を表紙裏に掲載。
発展的な学習の設定数・例【観点③】	各章に「発展」「参考」として学習内容と関わりのある発展的な内容を11掲載。	学習内容と関わりのある発展的な内容を「発展」「研究」として10掲載。	各章に「研究」「発展」として学習内容と関わりのある発展的な内容を13掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を11掲載。	各章に「発展」「研究」として学習内容と関わりのある発展的な内容を12掲載。
既習事項との関連性の記述【観点④】	特別な記述はなし。	特別な記述はなし。	数学Ⅰ、A、Ⅱ、Bの学習事項が表紙裏にまとめられている。	特別な記述はなし	特別な記述はなし
デザイン・配色【観点⑤】	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーに対応	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮
その他【観点⑤】	巻末に、国際バカロレアのディプロマ・プログラムの最終試験問題を英文で掲載。	特になし。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	巻末に、数学の用語の英語表記がまとめられている。	特になし。

高等学校 教科書選定理由（化学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化基	711	高等学校 化学基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	理科・化学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる。

化学と人間生活，物質の構成，物質の変化，化学が拓く世界の4つの章から構成されている。各章とも，図やデータが多く取り入れられており，本文の内容が理解しやすい。化学が拓く世界では，食品や日用品などの写真を多用し日常生活における身近な化学の話題を取り上げることで，生徒が化学と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。また，演習問題については，反復的に学習することで計算力をつけるための「ドリル」があるほか，大学入試によく出題されるような内容が「例題」として詳しく解説され，さらに発展的内容に関する問題も掲載されており，生徒の理解度に応じて自主的，自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験が充実している。

本文記述内容を理解または経験させるための観察・実験が十分な量で適宜配置されており，実験操作などの記述も分かりやすい構成となっている。また，実験テーマの設定数，難易度が適切であり，生徒の観察・実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「化学」の学習と接続できる

科目「化学」への接続を意識し，化学基礎の学習内容をさらに深化させる事項を取り上げているほか，科目「化学」で学習する内容も多く取り上げており，生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。

④ 英語表記が充実している。

本文中に英語による専門用語が記されている。課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（理科・化学基礎）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に沿っているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 化学的な見方や考え方を養う基本的な探究活動、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「化学」との接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	化基・701	化基・704	化基・706	化基・708	化基・711
検定年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・頁数	A5ワイド・231	B5・202	A5・256	A5・266	A5・248
内容構成【観点①】	1編 化学と人間生活 2編 物質の構成 3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界	序 物質と化学 1章 物質の構成 2章 物質と化学結合 3章 物質の変化 終章 化学が拓く世界	序章 化学の特徴 第1部 物質の構成 第2部 物質の変化 終章 化学が拓く世界	序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第2編 物質の変化 終章 化学が拓く世界	序章 化学と人間生活 第1章 物質の構成 第2章 物質の変化 終章 化学が拓く世界
文や写真・図などの特徴【観点①】	学習に入る前に、身のまわりの事象に対する疑問や問いについて考え、「学習の問い」で課題意識を持たせ、その節のポイントの整理と見直しをもって探究的に学習ができるように編集されている。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文中で中学校の既習事項に該当する部分を「復習」として示している。さらに、本文の内容を深めるための「Plus」や、発展的な内容をさらに詳細に記した「発展」も充実している。「発展」のうち、大学でも生かせる内容は「Premium PLUS」と別項目となっている。図表も適切に配置されている。	各節の冒頭に、学習内容の概要を示しており、わかりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための参考的な事例や身近な生活に関連する「COLUMN」や発展的な内容も充実している。また、主体的・対話的で深い学びができるように、対話学習の題材となる話題が掲載されている。「生活の扉」では学習内容と関連した身近な話題を取り上げている。「理解度チェック」を学習の節目に配置し、学習内容を振り返る問いを設置している。図表も適切に配置されている。	各章の冒頭に、学習内容の概要を示しており、分かりやすい。学習の導入、学習課題の解決、学習内容の深化、学習内容の振り返りの4つの段階で利用できるように構成されている。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「参考」には理解を助けるための様々な工夫が凝らされている。発展的な内容を詳細に記述した「発展」も充実しており「化学」への学習の橋渡しが容易に行える。図表も適切に配置されている。	各編の冒頭に、各編の学習内容の概要を示している。また中学校での既習事項との関連も明確にされている。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「参考」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。図表を用いて学習内容を整理した「整理」を設定したり、間違えやすい所を「注意」で説明したり、計算力をつけるための「ドリル」があるなど工夫されている。図表も適切に配置されている。	各項目の冒頭に、「Approach」が設けられ学習内容の流れが示されており、見直しを立てることができる。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「Plus α」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。図表を用いて学習内容を整理した「整理」を設定したり、間違えやすい所を「注意」で説明したり、計算力をつけるための「ドリル」があるなど工夫されている。図表も適切に配置されている。
演習問題【観点①】	各章末に「まとめ」と「章末問題」が設定されている。	各節末に「まとめ」と「論述問題」、「節末問題」が設定されている。	各章末に「まとめ」と「章末問題」が設定されている。	各章末に「まとめ」と「章末問題」が設定されている。	各節末に「学習のまとめ」、「節末問題」が設定されている。
実験の設定数・流れ・例【観点②】	設定数：8 実験の流れ ①目的 ②準備 ③方法 ④結果 ⑤考察 例) オキシドールの濃度を求めよう	設定数：13 実験の流れ ①課題・目的 ②仮説 ③検証計画を立てる ④実験 ⑤結果 ⑥検証・考察 例) 中和滴定	学習内容を基に仮説を立て検証する「探究」を設定 設定数：5 実験の流れ ①課題 ②仮説と計画 ③準備 ④操作 ⑤結果 ⑥考察 例) 中和滴定 この他に探究として5テーマ設定されている。 例) 砂糖水と食塩水を区別する。	設定数：18 実験の流れ ①見方・考え方 ②操作 ③結果と考察 例) 酸化剤と還元剤の反応	設定数：21 実験の流れ ①仮説 ②方法 ③考察 例) 中和滴定によって食酢の濃度を求める。
発展的な学習の設定数・例【観点③】	18 例) 銅の電解精錬	12 例) 水のイオン積	17 例) 金属のイオン化列と標準電極電位	9 例) 結晶格子と単位格子	23 例) リチウムイオン電池の開発の歴史
教科書「化学」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑤】	脚注に英語による専門用語が示されている。デジタルコンテンツ利用。SDGsとの関連明記。	巻末に和英用語集が添付されている。	巻末に化学英語への入門編が添付されている。デジタルコンテンツ利用。本文中に英語で専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。デジタルコンテンツ利用。	本文中に英語による専門用語が示されている。デジタルコンテンツ利用。

高等学校 教科書選定理由（化学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化学	708	高等学校 化学

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2・3学年	理科・化学
------	--------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

物質の状態，物質の変化と平衡，無機物質，有機化合物，高分子化合物の5つの化学的内容を扱う章と，化学の築く未来という発展的，教科横断的なテーマを扱う終章から構成されている。

各章とも，図やデータが多く取り入れられ，豊富な内容がわかりやすく整理され，記載されている。ページの下部には脚注の欄が設けられ，本文中で扱った内容について，化学的な説明が付加されたり，身のまわりの事象や既習内容と関連付けた具体的な説明がなされたりするなど，概念や定義の定着を図る工夫がなされているとともに，深い理解を促す囲み記事や日常生活と関連の深い記事なども十分に盛り込まれており，生徒が予習，復習に活用しやすい紙面構成となっている。

② 観察・実験が充実している

本文の記述内容に関連した観察・実験が適切に配置されており，理解および実感を深化させる工夫がみられる。実験操作に関する記述も丁寧で分かりやすく，学習の進行に伴って探究的内容に触れたり，学習そのものが探究的内容を内包するような構成となっており，生徒の実態に応じて観察・実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。これは授業において日常的に観察・実験や探究活動を行う本校化学の授業実態に合致する。

③ 発展的な学習内容が充実しており，高次の学び，理解への橋渡しができる

“Plus α” “発展” の項目が多く設けられており，「酵素と活性化エネルギー」，「不斉合成」，「ベンゼンの構造と安定性」など，大学入試だけでなく，その先の研究や現代の化学的トピックをも見据えた発展的内容も充実しており，ほとんどの生徒が大学に進学し，学習を続ける本校生徒の実態にあっている。

④ 英語表記が充実している

重要語句は太字で示されると同時に，英語による専門用語が記されている。発展課題や探究的な課題に取り組む際に，国内だけでなく海外の論文や試料を検索するために有用であると同時に，英語を用いた課題への解答や文章の要約を作成するときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（理科・化学）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に沿っているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 化学的な見方や考え方を養う基本的な探究活動、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「化学基礎」との接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	化学・701, 702	化学・703	化学・705	化学・706	化学・708
検定年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年
判型・頁数	A5 ワイド・	A5・488	A5・484	A5・514	A5 ワイド・464
内容構成【観点①】	0編 人間生活のなかの化学 1編 物質の状態 2編 化学反応とエネルギー 3編 化学反応の速さと平衡 4編 無機物質 5編 有機化合物 6編 高分子化合物 7編 化学が果たす役割	1章 物質の状態と平衡 2章 物質の変化と平衡 3章 無機物質 4章 有機化合物 5章 高分子化合物 終章 化学とその役割	第1部 物質の状態 第2部 物質の変化と平衡 第3部 無機物質 第4部 有機化合物 第5部 高分子化合物	第1編 物質の状態 第2編 物質の変化と平衡 第3編 無機物質 第4編 有機化合物 第5編 高分子化合物	第1章 物質の状態 第2章 物質の変化と平衡 第3章 無機物質 第4章 有機化合物 第5章 高分子化合物 終章 化学の築く未来
文や写真・図などの特徴【観点①】	各章の冒頭に、各節の内容に関連する身のまわりの事象に対する疑問や問いが示されており、学習を促す工夫がされている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「Plus」などの工夫もなされている。日常生活、科学史、などの話題を取り上げた「コラム」や、SDGsの各目標と関連のある話題も提供されており、学習内容を俯瞰的に捉えることができる構成となっている。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができる。	各節の冒頭に、学習内容の概要を示しており、分かりやすい。単元内容の体系的なイメージを示すインデックスがあり、学習のつながりがわかりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。概念の理解につながる「Key concept」や思考、判断に関連した「Thinking Point」など、本文と学習内容・観点とのつながりをつかみやすい構成となっている。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができる。	各章の冒頭に、学習内容の概要を示しており、分かりやすい。学習の導入、学習課題の解決、学習内容の深化、学習内容の振り返りの4つの段階で利用できるように構成されている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「参考」には理解を助けるための様々な工夫が凝らされている。発展的内容を詳細に記述した「発展」も充実している。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができる。	各編の冒頭に、学習内容に関連する事象が写真つきで紹介されている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、「復習」、「関連」、「参考」、「発展」など、学習内容が項目ごとに整理・分類されて配置されており、理解しづらい所や間違えやすい所を「Zoom」として重点的に説明するなどの工夫がみられる。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができる。	本文は簡潔で分かりやすく記載されており、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、図表を用いて学習内容を整理したり、「整理」を設定したり、間違えやすい所を「注意」で説明したり、計算力をつけるための「ドリル」があるなど工夫されている。文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「Plus α」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができる。
演習問題【観点①】	各章末に「章末まとめ」、「章末問題」が設定されている。	各章末に「章末問題」が設定され、節によっては「論述問題・節末問題」が設定されている。	各章末に「章末問題」が設定されている。	各章末に「演習問題」が設定されている。	各節末に「節末問題」が設定されている。
探究活動の設定数・流れ・例【観点②】	設定数：24 探究活動の流れ： ①気付き・課題の設定 ②仮説の設定 ③検証計画の立案 ④観察・実験の実施 ④結果の検証 ⑤考察・推論 ⑥表現 例) ビタミンCの濃度を調べよう	設定数：9 巻末に「academia 探究編および英語編」を配置し、高次の内容をもとに思考実験的探究を重視している。 例) ベンゼンの置換反応	設定数：13 探究活動の流れ： ①課題の設定 ②仮説と計画 ③準備 ④操作 ④結果 ⑤考察 例) 金属イオンの分離	設定数：19 探究活動の流れ： ①課題の発見 ②課題の探究 ③課題の解決 例) しょうゆに含まれる食塩の量を求める。	設定数：0（関連実験数：7） ①仮説 ②方法 ③考察 例) 緩衝液の性質を調べる
探究活動以外の観察実験等の設定数・例【観点②】	実験：28 例) 金属イオンの沈殿反応をまとめよう	実験：18 例) ハロゲンの酸化力の強さ	実験：29 例) 炭化水素の反応	実験：21 例) ヘスの法則	実験：7 例) シクロヘキサンの分子量を求める
発展的な学習の設定数・例【観点③】	34 例)	32 例) 多段階反応	24 例) シクロヘキサンの配座異性体	19 例) マルコフニコフ則	24 例) 活性化エネルギーの求め方
教科書「化学基礎」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑤】	本文中に登場する物質名に英訳が付されている。	本文中の重要語句・物質名に英訳が付されている。	本文中の重要語句・物質名に英訳が付されている。	本文中の重要語句・物質名に英訳が付されている。	本文中の重要語句・物質名に英訳が付されている。

高等学校 教科書選定理由（理科・生物基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生基	710	高等学校 生物基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	理科・生物基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態，科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は「生物の特徴」，「ヒトのからだの調節」，「生物の多様性と生態系」の流れで構成されている。各章で理解すべき学習内容や学習のつながりが極めて明確である。また，生物と生物現象に関して，共通性と多様性という視点からとらえ，ミクロレベルからマクロレベルまで幅広い領域を理解できるよう構成されている。

本文では図表や写真と文章をバランス良く組み合わせ，ストーリー性をもった学習事項の解説が行われている。また，一部の実験や図では，学習内容を補足する動画を携帯端末やパソコンで視聴できるようになっており，興味・関心をもたせ，学習意欲を高める工夫がなされている。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成となっている

巻頭に，「探究的な学習の進め方」が示されており，科学的な探究の過程や，各過程において主に必要とされる能力を理解した上で，学習が進められるような構成になっている。普段の学習から探究的に進めることができるよう，本文と融合して「資料を用いた学習」「観察」「実験」「調査」が設けられており，理科の見方・考え方を働かせながら主体的に学習を進め，実験観察の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことが可能となっている。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「生物」の学習と接続できる

最新の科学研究の内容に基づいた発展的な学習内容が多く記載されており，学習内容の理解をより深化させたり，知的好奇心を高めたりすることができる。また，科目「生物」の接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており，課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（理科・生物基礎）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に適しているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 生物学的な見方や考え方を養う基本的な探究的な学習、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「生物」との接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	教研出版	第一学習社
記号・番号	生基・701	生基・703	生基・705	生基・708	生基・710
検定年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・頁数	B5変・252	B5・222	B5変・242	B5変・268	B5変・242
内容構成【観点①】	①生物の特徴 ②遺伝子とそのはたらき ③ヒトの体の調節 ④生物の多様性と生態系	①生物の特徴 ②遺伝子とその働き ③ヒトのからだの調節 ④生物の多様性と生態系	①生物の特徴 ②遺伝子とその働き ③ヒトの体の調節 ④生物の多様性と生態系	①生物の特徴 ②ヒトの体内環境の維持 ③生物の多様性と生態系	①生物の特徴 ②ヒトのからだの調節 ③生物の多様性と生態系
文や写真・図などの特徴【観点①】	各節の冒頭に「Let's start!」を配置し、日常生活や社会とのつながりを実感できる内容から学習が始まるよう工夫されている。また、各節ごとに、『? (学習の問い)』と『! (この節のポイント)』を設け、見直しをもって主要な概念を学習できる内容となっている。本文の内容をより深めるために、「日常」「社会」「科学史」「研究」などの話題を取り上げた「コラム」が充実している。各章末には、生徒自ら学習内容を振り返り、理解度を確認するための『章末まとめ』が設けられている。基本的な技能が求められる実習には、二次元コードが掲載されており、実験映像を視聴することで、より確かで基本的な技能の習得が可能となっている。	各節の冒頭に目標が示されており、学習の意義・目的が理解しやすい。探究の過程を重視し、これを通して科学の方法を習得させることができるよう、「調べてみよう」や「考えてみよう」が設置されている。カラーページには生物や細胞、細胞小器官などの写真と大きさがまとめられており、本文中には適宜「スケールナビ」を設置し、生徒のスケール感を養う工夫がなされている。生徒の思考力・判断力・表現力を養えるように、各章末には“日常生活と生物”“科学と歴史”などをテーマとした特集ページが設けられている。また、「〇〇学への招待」という欄を設置し、大学で学ぶことのできる学問について紹介されている。	教科書全体を通して、探究の流れを学習できるように、探究の流れを学び、その後、探究の進め方の基本事を学習するように配置されている。「TOPIC」では、豆知識、日常生活、医療、社会との関わりを扱い、学習内容と関連した話題を取り上げ、興味・関心をもたせるものとなっている。「考えよう」を随所に設定し、学習内容を踏まえて考える問題を提示することで、生徒が自分なりに考察・推論し、課題を解決する取り組みにつながるよう工夫されている。また、効果的なデジタル教材にリンクするQRコードを要所に掲載し、生徒の学習意欲を高めたり、学習を広げ、理解をより深めたりするよう意図されている。	各章のはじめに、その章で学習することの目標を示し、見直しをもって学習できるようになっている。物事を科学的に探究するための技能を身につけ、理科の見方・考え方を養えるよう、巻頭に「探究のプロセス」、巻末に「探究のテーマを見つける」「探究の実践例」が配置されている。各章末には、学習内容の振り返りができる「知識の確認」「補充問題」に加え、「日常生活や社会との関連」を設け、生徒が学習して身につけた知識を活用したり、物事を科学的に考えたりできるよう工夫されている。デジタルコンテンツとして、学習内容に関連した実験映像やアニメーション、参考資料、活動を行うためのツールなどが用意されている。	巻頭に「探究的な学習の進め方」を設け、科学的な探究の過程、各過程で主に必要とされる能力を理解してから、学習を進められるように配慮されている。加えて、本文と融合した「資料を用いた学習」「観察」「実験」「調査」を設け、普段の学習も探究的に進めることができるような構成となっている。学習内容の振り返りや自己評価につなげるため、各項目には「Check」が、各章末には「章末問題」が設けられている。また、「知識を活かす」と題し、日常生活と学習内容を結びつける問いを設け、日常における理科の見方・考え方を養えるようになっている。一部の実験や図では、学習内容を補足する動画を携帯端末やパソコンで視聴できるようにしている。
演習問題【観点①】	各編末に「用語の確認」、「確認問題」、「記述問題」、「資料問題」が設定されている。	各節末に「まとめ・節末問題」が設定されている。	各章末に「学習のまとめ」、「一問一答」、「演習問題」が設定されている。	各章末に「知識の確認」、「補充問題」、「チャレンジ」が設定されている。	各章末に「整理」、「章末問題」が設定されている。
探究的な学習の流れ【観点②】	探究の進め方 ①自然現象に対する気づき・課題の設定 ②仮説の設定 ③検証計画の立案 ④観察・実験の実施 ⑤結果の処理 ⑥考察・推論・発表 ⑦新しい探究に向けての気づき	探究の進め方 ①問題の発見、気づき ②情報の収集 ③課題の設定 ④仮説の設定 ⑤検証計画の立案 ⑥観察・実験の実施 ⑦結果まとめ ⑧結果の検証・考察 ⑨まとめと報告	探究の進め方 ①自然現象に対する気づき ②課題の設定 ③仮説の設定 ④検証計画の立案 ⑤観察・実験の実施 ⑥結果の処理 ⑦考察・推論 ⑧表現・伝達 ⑨次の探究の過程	探究のプロセス ①疑問の発生 ②疑問に対する情報の収集・処理 ③実験計画の立案 ・仮説の設定 ・実験方法の検討 ・スケジュール ・材料などの準備 ④実験・観察の実施 ⑤結果の処理と考察 ⑥結論と今後の課題 ⑦レポートの作成と発表	探究的な学習の進め方 ①課題の把握 ・自然に対する気づき ・課題の設定 ②課題の追求 ・予想・仮説の設定 ・検証計画の立案 ・検証の実施 ・結果の処理 ③課題の解決 ・考察・結論 ・表現・伝達
観察実験等の設定数・例【観点②】	実習：16 例) 様々な生物の顕微鏡観察とDNAの抽出	実験：10 例) 原核生物と真核生物の観察	探究：22 例) ブロコリーからDNAを抽出する	実験・観察・調査・実習：15 例) DNAの抽出	観察・実験・調査：13 例) DNAの抽出 演習：4
発展的な学習の設定数・例【観点③】	20 例) 生物の種と分類・系統	23 例) 分子系統樹	45 例) 分子系統樹	19 例) 系統樹は何をもとに作られるのだろうか?	24 例) 生物の系統関係
教科書「生物」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑤】	脚注に英語による専門用語が示されている	脚注に英語による専門用語が示されている	本文中に英語による専門用語が示されている	本文中に英語による専門用語が示されている	本文中に英語による専門用語が示されている

高等学校 教科書選定理由（理科・生物）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生物	705	高等学校 生物

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・生物
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態，科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は生物の進化と系統，生命現象と物質，遺伝情報の発現と発生，生物の環境応答，生態と環境の流れで構成されており，進化の視点を重視しながら，ミクロレベルからマクロレベルまでの幅広い領域について体系立てて理解できるよう配慮されている。また，生物基礎に引き続き，生物や生命現象には共通性と多様性がみられること，非生物的要因と生物的要因が関連していることに着目しながら学習が進められるよう構成されている。本文では理解しやすい図表と分かりやすい文章をバランス良く組み合わせ，ストーリー性をもって丁寧な解説を行うとともに，電子顕微鏡画像や動・植物の画像などの実物の鮮明な写真を多く掲載し，生命現象のイメージを適切にもつことができる。また，重要事項を図表で「整理」としてまとめており，生命現象の見方・考え方を習得させる上で有効である。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成が充実している

巻頭に「探究的な学習の進め方」を設け，科学的な探究の過程や，各過程で主に必要とされる能力を理解してから学習が進められるよう配慮されている。また，普段の学習も探究的に進めることができるよう，「資料」「観察」「実験」「調査」が設けられている。「観察」や「実験」では，材料の入手しやすさを含め，基本的な探究活動に適しているものが多く設定されており，観察実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「生物基礎」の学習と接続できる

発展的な学習内容が適宜導入されており，学習内容の理解を深化させたり，知的好奇心を高めたりすることができる。また，科目「生物基礎」との接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

脚注に英語による専門用語が記されており，課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英文による要約を作成したりするときの参考になることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（理科・生物）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に適しているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 生物学的な見方や考え方を養う基本的な探究活動、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「生物基礎」との接続および学習内容の深化 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	教研出版	第一学習社
記号・番号	生物・701	生物・702	生物・703	生物・704	生物・705
検定年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年
判型・頁数	B5変型・490	B5・318	B5変型・418	B5変型・452	B5変型・406
内容構成【観点①】	①生物の進化 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境	①生物の進化 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境	①生物の進化 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境	①生物の進化 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境	①生物の進化と系統 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境
文や写真・図などの特徴【観点①】	各節の冒頭に、身のまわりの事象に対する疑問や問い及び学習内容について考えさせる問いが示されており、見直しをもって学習に取り組むための工夫がなされている。また、各節末に学習のポイントが示されており、学習内容を振り返り、整理するための工夫がなされている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、「研究」「深める」「自然」「日常」といったさまざまな視点から生物についての理解を深めるための「コラム」などの工夫もなされている。図表も適材適所に配置されている。また、「特集」として本文に関連した参考資料がビジュアルに掲載されている。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができるようになっている。	巻頭ページに、各章の学習内容に関連したさまざまな生物を取りあげ、学習内容に対応した問いを示すとともに、各章の冒頭に学習目標を記載しており、学習のつながりがわかりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための「コラム」や「特集」も充実している。図表も適材適所に配置されている。また、実物の写真を多く取り入れている。本文中に出てくる写真やイラストは巻末の「ビジュアルナビ」にまとめられている。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができるようになっている。	各部の冒頭に、「考えよう」と題して、単元の中核となる探究的な問いや社会問題と関連付けた問いが示されており、見直しをもって学習に取り組むための工夫がなされている。また、各節や各項の冒頭に「課題」が、末尾には「課題」に対する「まとめ」がそれぞれ示されており、課題解決的な学習活動を進めるための工夫がなされている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための「参考」や資料に基づいて考察に取り組む「資料学習」も充実している。図表も適材適所に配置されている。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができるようになっている。	各章の冒頭に、中学校や生物基礎での学習内容及び本教科書の学習内容の要点が示されているとともに、各章で学習する内容の要点が問いの形式で示されており、見直しをもって学習に取り組むための工夫がなされている。また、各節では、冒頭に学習目標、本文中に「Quest」と題した問い、節末に「節末チェック」と題した問いがそれぞれ示されており、学習のつながりとともに、学習内容を振り返るための工夫がなされている。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、生物基礎での既習事項を含む基本的な学習事項から、高度な学習事項までストーリー性が重視された構成となっている。さらに、本文の補足内容や研究史、日常生活の話題を取り上げた「参考」あるいは「発展」の各内容も充実しており、現代生物学を体系的かつ深く学べるようになっている。図表を用いて学習内容を整理した「整理」が適宜配置されており、学習内容の要点が理解しやすい。また、実物の写真を多く取り入れており、現象を視覚的に理解しやすい。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができるようになっている。	各章の冒頭に、「学習目標」が示されているとともに、各項に単元の課題に対する気づきや疑問が示されており、学習前に知識や考えを整理し、見直しをもって学習に取り組むための工夫がなされている。また、各節の内容は、探究の3過程である「課題の把握」「課題の追究」「課題の解決」に沿って学習を進めることができる構成になっており、なおかつ分かりやすい。各章で何を学習するのかがわかりやすい。本文は簡潔で読みやすく、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、生物基礎での既習事項を含む基本的な学習事項から、高度な学習事項までストーリー性が重視された構成となっている。さらに、本文の補足内容や研究史、日常生活の話題を取り上げた「参考」あるいは「発展」の各内容も充実しており、現代生物学を体系的かつ深く学べるようになっている。図表を用いて学習内容を整理した「整理」が適宜配置されており、学習内容の要点が理解しやすい。また、実物の写真を多く取り入れており、現象を視覚的に理解しやすい。なお、図や映像資料が二次元コードで提供されており、必要に応じてさらに学習を深めることができるようになっている。
演習問題【観点①】	各章末に「章末まとめ」、各編末に「編末問題」が設定されている。	本文中に「問」及び「チャレンジ（考察問題）」が設定されているほか、各節末に「まとめ・節末問題」、各章末に「章末問題」がそれぞれ設定されている。	本文中に「問い」が設定されているほか、各節末に「一問一答」が設定されている。	本文中に「問」および「思考学習（考察問題）」が設定されているほか、各章末に「知識の確認」「補充問題」「チャレンジ」がそれぞれ設定されている。	各章末に「章末問題」が設定されている。また、思考力・判断力・表現力の伸長を目的とした「特講」が設定されている。
探究活動の設定数・流れ・例【観点②】	設定数：10（実習）＋16（資料読解） 「実習」及び「資料読解」において探究的な学習活動が設定されている。 例) DNA の塩基配列の	設定数：12 本文中に仮説の設定や考察・推論などに取り組む探究的な学習活動が設定されている。 例) ミラーの実験（仮	設定数：22 各章で1つないし2つの「探究」において探究の過程を重視した学習活動が設定されている。 例) 生物を構成する物	設定数：21 「実験」「観察」「実習」の内容の最後に必ず「探究」と題した学習活動が設定されている。 例) 対立遺伝子のどち	設定数：32 「観察」「実験」「調査」及び「資料」において、探究の過程に含まれる「予想・仮説の設定」「検証計画の立案」「検証の実施」「結果

	変化とアミノ酸の対応関係	説の設定)	質はどのようにして生じたのか	らか一方が他方より次世代に伝わりやすい場合、遺伝子頻度はどのように変化するだろうか。	の処理」「考察・結論」などを重視した探究的な学習活動が設定されている。 例) 生物の進化と地球の大気組成の変化との関係を考えよう
探究活動以外の観察実験等の設定数・例【観点②】	実験：8 例) コハク酸脱水素酵素の実験	実験：12 例) カードを使ったモデル実験	上記「探究」と同じ	上記の「実験」「観察」「実習」と同じ	観察・実験・調査：16 例) モデル実験を行って遺伝子頻度の変化について考えよう
発展的な学習の設定数・例【観点③】	6 例) セントラルドグマと異なる遺伝情報の流れ	3 例) RNA による遺伝子発現の抑制	7 例) トランスポゾンとレトロトランスポゾン	5 例) DNA 末端の複製	4 例) DNA の末端の複製
教科書「生物基礎」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑥】	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。

高等学校 教科書選定理由（物理基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	物基	705	高等学校 物理基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

物体の運動とエネルギー，熱，波，電気と磁気，物理と私たちの生活の5つの章から構成されている。各章とも，図や写真，グラフやデータが多く取り入れられており，本文の内容が理解しやすい。また，日常生活における身近な物理現象の話題を取り上げることで，生徒が物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。また，演習問題については，生徒が間違いやすい点や，分かりやすく説明されているほか，大学入試にもよく出題されるような内容が「例題」として取り上げられている。さらに発展的内容に関する問題も掲載されており，生徒の理解度に応じて自主的，自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験，探究活動が充実している

探究の過程を重視した構成になっている。「やってみよう」，「実験・実習」，「探究」の3段階に分け，法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されており，実験操作などの記述も分かりやすい。また，設定数，難易度が適切であり，生徒の観察・実験の技能，また思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「物理」の学習と接続できる

科目「物理」への接続を意識し，物理基礎の学習内容をさらに深化させる事項を取り上げているほか，科目「物理」で学習する内容も多く取り上げており，生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。

④ 英語表記が充実している

英語による専門用語が記されており，英語の略語についても英語表記があり，物理量を文字で表すときの文字の意味がわかり理解が深まる。

高等学校 教科書選定資料（理科・物理基礎）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に沿っているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 物理的な見方や考え方を養う基本的な探究活動、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「物理」との接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	物基・701	物基・703	物基・705	物基・707	物基・709
検定年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・頁数	B6変形・288	B5・247	A5・271	A5・296	B5変型・296
内容構成【観点①】	1編 物体の運動とエネルギー 2編 さまざまな物理現象とエネルギー 終章 物理学が拓く世界	1章 物体の運動 2章 エネルギー 3章 波 4章 電気 5章 物理と社会	第1部 物体の運動とエネルギー 第2部 熱 第3部 波 第4部 電気と磁気 第5章 物理と私たちの生活	第1編 運動とエネルギー 第2編 熱 第3編 波 第4編 電気 第5編 物理学と社会	序章 物理量の測定とその扱い方 第1章 運動とエネルギー 第2章 熱 第3章 波動 第4章 電気
文や写真・図などの特徴【観点①】	各章の冒頭に、各節の課題が示されており、学習を促す工夫がされている。また各項目のはじめに「？」が置かれ、目標がわかりやすい。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。さらに、学習上のポイントや留意点を示す「NOTE」や、発展的な内容をさらに詳細に記した「発展」も充実している。「日常生活、科学史、などの話題を取り上げた「コラム」も提供されている。思考力を育む手立てとして「考えてみよう」を設けている。 図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい	各節の冒頭に、学習内容の概要を日常生活や科学史と関連付けて詳しく示しており、学習を促す工夫がされている。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「COLUMN」や発展的な内容をさらに詳細に記した「参考」も充実している。思考力を育む手立てとして「考えてみよう」「話し合ってみよう」などを設けている。「発展」のうち、難易度の高いものは「Extra」として別項目となっている。 図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。	各章の冒頭に、学習内容の概要のほか、日常生活との関わりを示しており、分かりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて詳しい注釈が加えられている。また本文の理解を深めるため、間違いやすいところを詳しく説明した「Q&A」も充実している。思考力を育む手立てとして「FOCUS」や「？」を設けている。本文の内容を深めるための参考事例や本文と関連した読み物を取り上げた「参考」や、科学者の紹介文、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。 図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。	各編の冒頭に、各編の学習内容の概要を英語で示している。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「参考」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。「コラム」では本文と関連した読み物が提供されている。思考力を育む手立てとして「説明してみよう」を設けている。また、特に理解を深めておきたい学習事項の解説と練習問題を「特講」 として取り上げている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。	各章の冒頭に、学習目標を提示し、分かりやすい。また各項目のはじめに「？」が置かれ、目標がわかりやすい。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。思考力を育む手立てとして「TRY」や「CHECK」を設けている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「Plus」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。また、特に理解を深めておきたい学習事項の解説と練習問題を「特講」 として取り上げている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。
演習問題【観点①】	各章末に「章末問題」が設定されている。	各節末に「まとめ」と「節末問題」が設定されている。	各章末に「章末問題」が設定されている。	各章末に「章末問題」が設定されている。	各節末に「節末問題」が設定されている。
探究活動の設定数・流れ・例【観点②】	設定数：8 探究活動の流れ： ①自然事象に対する気付き・課題の設定 ②仮説の設定 ③検証計画の立案 ④観察・実験の実施 ⑤結果の処理 ⑥考察・推論・発表 ⑦新しい探求に向けての気付き 例) 斜面上を下る力学台車	設定数15 探究活動の流れ： ①問題の発生 ②情報の収集 ③仮説の設定 ④実験・観察 ⑤結果の整理・考察 ⑥仮説の検証 ⑦報告書の作成と発表 例) 斜面上を下る台車の運動	設定数：14 探究活動の流れ： ①課題の設定 ②仮説の設定 ③検証計画の立案 ④観察・実験の実施 ⑤結果の処理 ⑥考察・推論 ⑦研究のまとめと発表・議論 ⑧新たな課題の発見 例) 電車の速度の変化のようす	設定数：26 探究活動の流れ： ①テーマの決定 ②仮説の設定 ③実験の計画 ④実験による検証 ⑤実験データの分析 ⑥報告書の作成 例) 斜面を降下する台車の運動	設定数：16 探究活動の流れ： ①課題の設定 ②仮説の設定 ③実験の計画 ④観察・実験の実施 ⑤結果の処理 ⑥考察 ⑦レポートの作成・研究の発表 例) 斜面を下る力学台車の運動
探究活動以外の観察実験等の設定数・例【観点②】	探究とその他実験の区別なし	探究とその他実験の区別なし	実験：22 例) 人の動きの分析	探究とその他実験の区別なし	実験：26 例) 長さの測定
発展的な学習の設定数・例【観点③】	16 例) 平面上の合成速度と相対速度	9 例) 平面上の速度の合成	21 例) 平面内の運動での速度の合成・分解	27 例) 平面上の速度の合成	27 例) 平面上の速度の合成
教科書「物理基礎」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑤】	脚注に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。

高等学校 教科書選定理由（物理）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	物理	703	高等学校 物理

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

様々な運動，熱，波，電気と磁気，原子・分子の世界の5つの章から構成されている。各章とも，図や写真，グラフやデータが多く取り入れられており，本文の内容が理解しやすい。また，日常生活における身近な物理現象の話題を取り上げることで，生徒が物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。また，演習問題については，生徒が間違いやすい点が，分かりやすく説明されているほか，大学入試にもよく出題されるような内容が「例題」として取り上げられている。さらに発展的内容に関する問題も掲載されており，生徒の理解度に応じて自主的，自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験，探究活動が充実している

探究の過程を重視した構成になっている。「やってみよう」，「実験・実習」，「探究」の3段階に分け，法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されており，実験操作などの記述も分かりやすい。また，設定数，難易度が適切であり，生徒の観察・実験の技能，また思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「物理」の学習と接続できる

科目「物理」への接続を意識し，物理基礎の学習内容をさらに深化させる事項を取り上げているほか，科目「物理」で学習する内容も多く取り上げており，生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。

④ 英語表記が充実している

英語による専門用語が記されており，英語の略語についても英語表記があり，物理量を文字で表すときの文字の意味がわかり理解が深まる。

高等学校 教科書選定資料（理科・物理）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に沿っているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 物理的な見方や考え方を養う基本的な探究活動、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「物理基礎」の接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	物理・701	物理・702	物理・703	物理・706	物理・709
検定年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年	令和4年
判型・頁数	B5変形・495	B5・351	A5・455	A5・456	B5変形・448
内容構成【観点①】	1編 ささまざまな運動 2編 波 3編 電気と磁気 4編 原子 終章 物理学が築く未来	1章 ささまざまな運動 2章 波 3章 電気と磁気 4章 原子 終章 物理学が築く未来	第1部 様々な運動 第2部 熱 第3部 波 第4部 電気と磁気 第5部 原子・分子の世界	第1編 力と運動 第2編 熱と気体 第3編 波 第4編 電気と磁気 第5編 原子	第1章 運動とエネルギー 第2章 波動 第3章 電気と磁気 第4章 原子 終章 物理学が築く未来
文や写真・図などの特徴【観点①】	各章の冒頭に、各節の課題が示されており、学習を促す工夫がされている。また各項目のはじめに「？」が置かれ、目標がわかりやすい。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。さらに、学習上のポイントや留意点を示す「NOTE」や、発展的な内容をさらに詳細に記した「発展」も充実している。「日常生活、科学史、などの話題を取り上げた「コラム」も提供されている。思考力を育む手立てとして「考えてみよう」を設けている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。	各節の冒頭に、学習内容の概要を日常生活や科学史と関連付けて詳しく示しており、学習を促す工夫がされている。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「COLUMN」や発展的な内容をさらに詳細に記した「参考」も充実している。思考力を育む手立てとして「考えてみよう」「話し合ってみよう」などを設けている。「発展」のうち、難易度の高いものは「Extra」として別項目となっている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。	各章の冒頭に、学習内容の概要のほか、日常生活との関わりを示しており、分かりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて詳しい注釈が加えられている。また本文の理解を深めるため、間違いやすいところを詳しく説明した「Q&A」も充実している。思考力を育む手立てとして「FOCUS」や「？」を設けている。本文の内容を深めるための参考事例や本文と関連した読み物を取り上げた「参考」や、科学者の紹介文、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。	各編の冒頭に、各編の学習内容の概要を英語で示している。 本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「参考」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。「コラム」では本文と関連した読み物が提供されている。思考力を育む手立てとして「説明してみよう」を設けている。また、理解しづらい所や間違えやすい所を「Zoom」で重点的に説明しており、工夫されている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。	各章の冒頭に、学習目標を提示し、分かりやすい。また各項目のはじめに「？」が置かれ、目標がわかりやすい。本文は簡潔で、用語に応じて適切な注釈が加えられている。思考力を育む手立てとして「TRY」や「CHECK」を設けている。また、本文の内容を深めるための参考事例を取り上げた「Plus」や、発展的な内容を詳細に記した「発展」も充実している。また、特に理解を深めておきたい学習事項の解説と練習問題を「特講」として取り上げている。図表も適材適所に配置されており、QRコードを用いたコンテンツも充実している。判型が大きく見やすい。
演習問題【観点①】	各章末に「まとめ」と「章末問題」が設定されている。	各節末に「まとめ」と「論述問題」、「節末問題」が設定されている。	各章末に「まとめ」と「章末問題」が設定されている。	各章末に「章末問題」が設定されている。	各節末に「節末問題」が設定されている。
探究活動の設定数・流れ・例【観点②】	設定数：15 レポートの書き方： ①目的 ②仮説（推論） ③準備 ④方法 ⑤処理のしかた ⑥結果の整理 ⑦グラフ ⑧考察 ⑨感想・報告 例）ビデオを使った放物運動の解析	設定数 16 探究活動の流れ： ①目標 ②仮説 ③準備 ④方法 ⑤処理 ⑥考察 例）棒のつりあい	設定数：14 探究活動の流れ： ①課題と仮説の設定 ②実験の計画・準備 ③実験の方法 ④考察 ⑤報告書の作成と発表 例）空気抵抗がはたらくときの物体の運動	設定数：16 探究活動の流れ： ①課題 ②仮説の設定 ③準備 ④手順 ⑤結果 ⑥考察 例）重心の求め方	設定数：15 探究活動の流れ： ①テーマの設定 ②情報の収集と仮説の設定 ③準備 ④実験の計画 ⑤実験による検証 ⑥データの処理と考察 ⑦報告書の作成と研究の発表 例）剛体のつりあいと重心
探究活動以外の観察実験等の設定数・例【観点②】	実験：36 例）剛体棒を使った石の密度測定	実験：46 例）相対速度	実験：40 例）2球の空中衝突	実験：34 例）相対速度	実験：30 例）相対速度の観察
発展的な学習の設定数・例【観点③】	9 例）万有引力による位置エネルギーの計算	2 例）波の速さと音の高低	4 例）斜め方向のドップラー効果	4 例）斜め方向のドップラー効果	3 例）斜め方向のドップラー効果
教科書「物理基礎」の発行【観点④】	有	有	有	有	有
デザイン・配色【観点⑤】	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮	カラーユニバーサルデザインに配慮
そのほか【観点⑤】	脚注に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。	本文中に英語による専門用語が示されている。

高等学校 教科書選定理由（地学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地基	703	高等学校 地学基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態，科学的に探究する資質・能力の育成に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

空間認識を主とした内容，時間認識を主とした内容，地球環境と人間生活・社会の関わりの内容の順で構成され，巻末に地学と職業の関わりを紹介している。理科の見方・考え方を働かせながら，地球システム概念の育成に適した構成になっている。本文は，自然事象の科学的な理解を促す丁寧な記述とともに，学習の視点や学習活動が随所に配置され，生徒の思考に沿って探究的な学習が可能な記述になっている。写真・図は大変鮮明なことに加え，デジタルコンテンツが適切に設定されており，個別最適化を図りながら理解を深める工夫がされている。

② 探究の過程を通じて科学的に探究する資質・能力を育成できる

探究の進め方が示されており，科学的な探究の過程や各過程において必要とされる能力を理解した上で，学習を進めることができる。特に，議論という過程を設け，研究を深めて次の研究に誘う活動が設定されている。観察実験等は，授業で実施可能な数が適切に設定されていることに加え，「探究実習」，「実習」，「やってみよう」の3種類が用意されており，身に付けさせたい資質・能力の重点のちがいに对应させて効率的・効果的に実施することが可能である。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「地学」の学習と接続できる

発展的な学習内容が多いことに加え，各学習内容（分野）に偏りなく記載されており，理解をより深化させたり，知的好奇心を高めたりすることができる。また，野外観察や地質図作成のスキルが記載されており，本校における課題研究の遂行に必要な内容である。さらに，科目「地学」の接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており，課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（地学基礎）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成に適しているか調査する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 理科の見方・考え方を働かせた探究的な学習、観察実験の充実 ③ 発展的な学習内容の充実 ④ 科目「地学」との接続 ⑤ そのほか				
発行	東京書籍	実教出版	啓林館	数研出版	第一学習社
記号・番号	地基701	地基702	地基703	地基704	地基705
検定年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・頁数	B5・202	B5・208	B5変型・238	B5変型・258	B5・222
内容構成【観点①】	①私たちの大地 ②私たちの空と海 ③私たちの宇宙の誕生 ④私たちの地球の歴史 ⑤地球に生きる私たち	①地球の構成と運動 ②大気と海洋 ③宇宙、太陽系と地球の誕生 ④古生物の変遷と地球の環境 ⑤地球の環境	①固体地球とその活動 ②大気と海洋 ③移り変わる地球 ④自然との共生	①活動する地球 ②移り変わる地球 ③大気と海洋 ④地球の環境 ⑤太陽系と宇宙	①地球のすがた ②地球の活動 ③大気と海洋 ④宇宙と地球 ⑤生物の変遷と地球環境 ⑥地球の環境
文や写真・図などの特徴【観点①】	見開きで学習内容を一まとまりとして捉える構成になっている。左ページから各節が始まり、「Let's Start!」を設けて疑問や気付きを喚起し、問いかけ、説明(実習を含む)、「節のまとめ」へと続く。大きめの写真や豊富な資料を使って、地学に関する内容をダイナミックに整理している。巻頭に科学の進歩を理解させる内容がある。デジタルコンテンツ利用を促す二次元コードがある(設定数34)。	本文の途中に「課題設定」、「仮説」、「方法」、「考察」を設け、生徒への問いかけ場面がある。地学に関連する職業紹介や話題を、大きな図や写真とともに紹介する特集がある。デジタルコンテンツ利用を促す二次元コードがある(設定数39)。	各章の始まりに疑問形で「学びの視点」を設け、説明(探究実習等を含む)へ続く。説明の中で、「考えてみよう」、「図を check!」等を要所で設けている。本文は自然現象を丁寧に説明し、脚注に本文の理解を深める補足がある。写真・図は鮮明で、巻末に地学に関する職業紹介がある。デジタルコンテンツ利用を促す二次元コードがある(設定数126)。	各項の始まりに「学習の目標」を設け、説明(実験等を含む)へ続き、項末に学んだことを説明する活動がある。脚注に本文の理解を深める補足がある。理解の難しい図は「Thinking Room」において、対話形式で解説されている。写真は鮮明で、巻末に自然災害の備えの紹介がある。デジタルコンテンツ利用を促す二次元コードがある(設定数116)。	見開き2ページで1テーマ構成となっており、各テーマ冒頭に「？」を設け、説明(実験等を含む)、「check!」へと続く。脚注に本文の補足がある。写真・図は鮮明で、特に「フォトギャラリー」では大きい写真を使って、自然現象をダイナミックに整理するとともに、「地学と仕事」の紹介がある。デジタルコンテンツ利用を促す二次元コードがある(設定数139)。
演習問題【観点①】	基本的な内容で構成される「編末確認テスト」、大学入学共通テストを意識した「チャレンジ問題」を設定している。	章末において基本的な内容で構成される「一問一答」、大学入学共通テストを意識した「章末問題」を設定している。	本文の途中に「問」、章末に標準的な「章末問題」を設定している。	本文の途中に「問」、編末に基本用語を問う「確認問題」、標準的な「演習問題」を設定している。	テーマ末に基本的な三択問題、節末に基本用語を問う学習のまとめ、確認テスト、巻末に大学入学共通テストを意識したチャレンジ問題を設定している。
探究的な学習の流れ【観点②】	巻頭に探究の進め方を説明し、サイエンスコミュニケーションや科学倫理にも触れている。探究の過程を次のような項目を挙げて一方向の矢印で示している。 ・自然現象に対する気付き ・課題の設定 ・仮説の設定 ・検証計画の立案 ・観察・実験の実施 ・結果の処理 ・考察・推論・発表 ・新しい探究に向けての気付き	巻末に探究の進め方を説明し、再現性に触れている。探究の過程を次のような項目を挙げて一方向の矢印で示している。 ・課題設定 ・仮説の設定 ・調査・観察・実験 ・結果のまとめ ・考察	巻末に探究の進め方を説明している。探究の過程を次のような項目を挙げて一方向の矢印で示すとともに、見通しや振り返りを示している。 ・自然現象に対する気付き ・課題の設定 ・仮説の設定 ・検証計画の立案 ・調査・観察・実験の実施 ・結果の処理 ・考察・推論 ・研究のまとめと発表・議論	巻頭に探究の進め方を説明している。探究の過程を次のような項目を挙げて示し、ポスター発表と口頭発表の特徴も説明している。 ・テーマ設定 ・文献調査・予備実験 ・仮説の設定 ・計画の立案 ・調査・実験 ・考察(仮説の検証) ・まとめ・結論 ・報告書の作成と発表	巻末に探究の進め方を説明している。探究の過程を次のような項目を挙げて示している。 ・課題の選定 ・計画の立案 ・研究の実施(観察・実験、結果のまとめ、結果の考察) ・報告書の作成 ・研究の発表
観察実験等の設定数・例(自然災害)【観点②】	実習：7 ちよラボ：7 地域のハザードマップを確認し、避難計画を立てる	観察・実験：28 地盤の液化化現象 ハザードマップの調査	探究実習：6 実習：4 やってみよう：12 地域の災害対策	実験・実習：23 火山防災マップの活用	実験：7 観察：7 気象災害の予測
発展的な学習の設定数・例(観察実験)【観点③】	設定数：6 例) 鉱物が示す変成作用の温度と圧力	設定数：18 例) 風を起す力を学ぼう	設定数：22 例) 地層の広がりとその調べ方	設定数：22 例) 塩類の起源と海洋の観測	設定数：26 例) 偏西風波動の実験
教科書「地学」の発行【観点④】	無	無	有	無	無
デザイン・配色【観点⑤】	ユニバーサルデザインに配慮	ユニバーサルデザインに配慮	ユニバーサルデザインに配慮	ユニバーサルデザインに配慮	ユニバーサルデザインに配慮
その他【観点⑤】	脚注に中学校とのつながりが示されている。	脚注に keyword や英語による会話例が示されている。	脚注に専門用語の英単語が示されている。	本文中の専門用語に英単語が示されている。	

高等学校 教科書選定理由（地学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地学	701	高等学校 地学

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態，科学的に探究する資質・能力の育成に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

巻頭に地学を学ぶ意義，地学を学ぶ視点が簡潔に示されており，地球惑星システム科学を学ぶアウトラインを理解することができる。各節の冒頭には「学びの視点」が随所に配置され，学びの見通しをもつことができる。本文は「地学基礎」との関連を図りながら論理的かつ丁寧に記述されており，無理なく地球システム概念を形成することができる。写真・図は鮮明なことに加え，デジタルコンテンツが適切に設定されており，個別最適化を図りながら理解を深める工夫がされている。また，図，写真，データなどが豊富に用意され，図には解説文または「図を check!」を設けて，図の読解を通じた理解が可能である。また，部末の部末問題は，入試問題レベルが想定されており，本校生徒の実態に適している。

② 野外調査を含む探究活動等が充実しており科学的に探究する資質・能力を育成できる

いずれも生徒にとって取り組みやすいテーマの探究活動や観察実験，実習が多く設定されている。また，探究活動の流れも明確で，理科の見方・考え方を働かせて科学的に探究する能力を育成する配慮がなされている。野外調査については，紙面上で野外調査のシミュレーションが体験でき，課題研究において野外調査を行う事前学習として大いに参考にすることができる。

③ 学習内容を深める記述や資料が豊富である

他教科や理科の他科目と関連するトピック，地域資料や日常生活と関連するトピックを多く盛り込み，地学の事物・現象を身近に実感しながらもそれらを科学的に捉え，自然観の涵養につながる工夫がなされている。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており，課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定資料（地学）

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成に適しているか調査する。なお、地学の教科書は、1社のみ発行である。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着 ② 理科の見方・考え方を働かせた探究活動、観察実験の充実 ③ 野外調査の重視 ④ 学習内容の深化 ⑤ そのほか
発行	啓林館
記号・番号	地学・701
検定年	令和4年
判型・頁数	A5・426
内容構成 【観点①】	①固体地球の概観と活動 ②地球の歴史 ③大気と海洋 ④宇宙の構造
文や写真・図などの特徴 【観点①】	巻頭に地学を学ぶ意義のほか、地球システム概念に基づいて学習する視点を簡潔に示している。各節の冒頭には、「学びの視点」が具体的に示されるとともに、デジタルコンテンツの利用を促す二次元コードが設定されている。本文は最新の知見を取り入れ、「地学基礎」との関連も図りながら論理的かつ丁寧に記述されている。図、写真は鮮明である。生徒の理解が難しい内容については、図、写真、データなどが豊富に用意され、図に丁寧な解説文が添えられていたり、「図を check!」を設けて着眼点や確認事項を示したりして、図の読解を通じた理解を促している。
地学の学習に必要な他教科・科目との関連【観点①】	巻末資料の中に、ギリシャ文字の読み方、対数と対数目盛、三角関数、測定値と有効数字、平方・立方・平方根・常用対数の表、三角関数表が掲載されている。
演習問題【観点①】	本文の途中に「問」が設定されている。部末に「部末問題」が設定されている。
探究活動の流れ【観点②】	巻末に探究の進め方を説明している。探究の過程を次のような項目を挙げて一方向の矢印で示すとともに、見直しや振り返りを示している。また、報告書の作成ポイントを簡潔に説明している。 ・自然事象に対する気付き ・課題の設定 ・仮説の設定 ・検証計画の立案 ・調査・観察・実験の実施 ・結果の処理 ・考察・推論 ・研究のまとめと発表・議論 ・新たな課題の発見 各探究実習では、一連の探究の過程のうち、特に重点的に取り組むべき過程に強調するような色がつけられている。
探究活動のテーマ【観点②】	探究実習として、5つのテーマを扱っている。 ①地球の形と重力 ②走時曲線を作成する ③恒星のみかけの運動について調べる ④恒星の明るさと表面温度の関係を調べる ⑤星団と星雲の分布を調べる
探究活動以外の観察実験等の名称・設定数・例【観点②】	やってみよう 14 実習 16 例) 海底地形の比較、変成岩と地形の関係を考えよう、日本にある世界ジオパークを調べよう、地形図から断層の動きを読み取る、河岸段丘を観察する、地層を観察・調査しルートマップを作成する、地層の広がりや成り立ちを調べる、地質図から地質構造を調べる
野外調査の扱い【観点③】	地層の定性的観察の方法、地層の走向と傾斜の測定方法、ルートマップの作成方法を述べた上で、ルートマップを作成する実習を設定している。続けて、地質図の作成方法、地質構造を述べた上で、先の実習結果を用いて、地層の広がりや成り立ちを調べる実習を設定しており、紙面上で野外調査のシミュレーションが体験できるようになっている。
学習内容を深める特徴的な記述【観点④】	地球惑星システム科学に関する内容のパラダイム転換について触れている。 日本列島の形成史において、地域資料などを多く盛り込み、多様な日本の地形・地質がどのように形成されたのかを実感できる工夫がされている。
学習内容を深める資料【観点④】	49テーマの「参考」を設定しており、最新の話題にも触れている。また、理科の他科目との関連が示されている。 例) 油田調査と隕石クレーター発見、チバニアン、アスベリティーとゆっくりすべり、噴火の予測、ジルコン年代、日本の鉱床、長時間にわたる大雨～線状降水帯～、フロンの使用を続けていたらどうなったか？、ブラックホールの発見、衝突する銀河 また、日常生活と関連させた「TOPIC」を設定し、他教科との関連も示している。 例) 体重計の地域設定、地温勾配と温泉、松尾芭蕉の見た背景、宇宙天気予報
デザイン・配色【観点⑤】	ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーバリエーションに対応している。
そのほか【観点⑤】	脚注に専門用語の英単語が示されている。

保健体育科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	保体	702	新高等保健体育

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第1・2学年	保健体育
------	--------	------

3. 教科書採択の理由

- ①学習指導要領に示された内容が、バランスよく配当されている。
- ・生徒の実生活に関連の深い内容であり、自ら健康について考え、判断する力を身につけられる構成となっている。
 - ・「身体活動・運動と健康」「食事と健康」「休養・睡眠と健康」とそれぞれ項目立てされ、より詳しく学習できるようになっている。
 - ・「性感染症・エイズとその予防」ではH I V感染を含めた性感染症について簡潔によくまとめられており、性に関わる内容についての学習に役立つ。
 - ・体育編ではスポーツを文化としてとらえ、さまざまな観点から深く掘り下げて考えることができる内容になっている。また、スポーツを科学的に分析し健康の保持増進に役立て、生涯スポーツについて自らの問題として考えることができる内容になっている。
- ②学習内容の理解を深めるための工夫が多くなされている。
- ・各項目に「調べてみよう」「考えてみよう」と題して、学習を深化させる実践課題が提示されており、主体的・対話的で深い学びへ導くことが可能になっている。
 - ・「ADVANCE」「コラム」と題して、生徒の視野を広げ、学習の深化をさらに図ることができるよう発展的学習内容や新しい健康問題、今日的话题が示されている。
 - ・図表やイラスト教材が豊富で、写真やグラフも最新のデータになっており、高校生の知的好奇心を刺激する内容になっているため学習内容の理解に効果的である
 - ・「心肺蘇生法」実習がA E Dの使用を含めた内容になっており、「付録」でA E Dの使い方や救急車の呼び方について具体的に詳しく説明されている。
 - ・「がんの予防と回復」や「精神疾患と特徴」「精神疾患への対応」など今日の私たちの生活を取りまく健康課題がタイムリーにとりあげられている。
- 以上の点を含め、総合的に判断して採択した。

高等学校 教科書選定資料

発行	大修館書店	大修館書店	第一学習社
記号・番号	保体・702	保体・701	保体・703
検定年	令和3年	令和3年	令和3年
判型・頁数	B5・215	B5・207	B5・176
内容構成	<ul style="list-style-type: none"> ①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり ⑤スポーツの発祥と発展 ⑥運動・スポーツの学び方 ⑦豊かなスポーツライフの設計 	<ul style="list-style-type: none"> ①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり ⑤スポーツの発祥と発展 ⑥運動・スポーツの学び方 ⑦豊かなスポーツライフの設計 	<ul style="list-style-type: none"> ①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり ⑤スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展 ⑥運動やスポーツの効果的な学習方法 ⑦豊かなスポーツライフの設計
文や写真・図などの特徴	<p>1項目見開き2頁で完結する構成であり、学習内容を明確に意識できる。</p> <p>文体はである調で簡潔になっている。</p> <p>生徒の実生活に関連の深い内容であり、高校生が自ら健康について考え、判断する力が身につけられる。</p> <p>学習項目について、具体的に何ができるようにすればよいかが明記されており、学習目標を把握しやすくなっている。</p> <p>本文中においてもキーワードやキー概念を太字で表記してあるため、学習内容の把握がしやすくなっている。</p> <p>各項目に「調べてみよう」「考えてみよう」「ADVANCE」「コラム」があり、学習内容の理解を深めるための工夫が多くなされている。</p> <p>グラフや図表が豊富で情報量も多く、理解を深め、生徒の情報活用能力を高める工夫がされている。</p> <p>図表の補足説明も記述してあるため、理解しやすい。</p> <p>また、表などの出典元や発表年が明らかにされているため、興味や関心を持って事物を調査するのに適している。</p>	<p>1項目見開き2頁で完結する構成であり、学習内容を明確に意識できる。</p> <p>文体はですます調で丁寧である。</p> <p>学習の目標が明示してあるため見通しをもって学ぶことができる。</p> <p>各項目のタイトル部分にイメージイラストが入っており、学習内容を視覚的にイメージできる。</p> <p>図表スペースが大きく、視覚的に学習内容を把握できる。</p> <p>資料がイラスト入りの図解で分かりやすく説明されている。</p> <p>特設ページで、身近なテーマの問題点を考えるきっかけを与えている。</p> <p>データの出典元や発表年が明記されていない。(最後のページに一覧はある。)</p>	<p>1項目見開き2頁で構成されており、学習内容を明確に意識できる。</p> <p>文体はですます調で丁寧である。</p> <p>各項目のリード文では、何を学び、何を考えなければいけないのかを問いかけており、また、本文中においてもキーワードやキー概念を太字で表記してあるため、学習内容の把握がしやすくなっている。</p> <p>紙面に余白を大きくとり、平易で簡潔な文章であるため、学習内容を容易に把握することができる。</p> <p>このテキストブックともう1冊アクティビティに分かれているため、座学中心の展開、主体的・協働的な学習活動と多様な指導の展開が可能である。</p> <p>テーマ学習として内容が構成されており、身近でない学習内容でも、思考や想像がしやすくなっている。</p>

高等学校 教科書選定理由（音楽Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音Ⅰ	701	音楽Ⅰ Tutti+

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	芸術・音楽Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

1. 様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身につけることができる。
2. 個人の価値観の多様性を尊重し、その能力を伸ばすことができる。
3. 生徒一人ひとりの豊かな情操や創造性を培う方向性が明確である。
4. 自他の敬愛と協力を重んずる態度や、生命や自然を大切にする態度、平和に寄与する態度、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し他国を尊重する態度を養うことができる。
5. 構成がカテゴリーごとに大変わかりやすくまとめられており、扱いやすい。
6. 色覚特性を踏まえた判読しやすい配色、表示の工夫が見られる。
7. 「A4」の扱いやすい大きさで、楽譜・文字・写真・図表なども大変見やすく配慮されている。
8. Webサイトがリンクしており、外国語の歌詞の朗読などコンテンツが豊富である。家庭学習などにも対応しやすくなっている。

高等学校 教科書選定理由（音楽Ⅲ）～R5 は開講未定～

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音Ⅲ	304	音楽Ⅲ 改訂版

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	芸術・音楽Ⅲ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

1. 表紙絵の「ハーモニカを吹く夫人と孫娘」で，生涯学習を意識した構成がよい。
2. 学習指導要領に示された学習項目を網羅し，滞りなく構成されている。
3. 声の世界・楽器の世界・舞台芸術の世界・鑑賞に分かれており，いずれも「芸術科音楽Ⅲ」の学習内容を獲得するのに十分な教材数と内容である。
4. 楽典・音楽史・ギターやキーボードのコード表など，生徒たちが活動を行うに際し資料性・実効性が高い。
5. 各教材の下に脚注が書かれ，作品の理解の補助となる。
6. A4判で楽譜もゆったりとしていて，音符や歌詞がたいへん見易く書かれている。
7. 音楽文化について理解を深めるのに相応しい教材・写真や図示が豊富である。

芸術科 高等学校教科書採択理由書（芸術・美術 I）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美 I	702	高校生の美術 1

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1 学年	芸術・美術 I
------	--------	---------

3. 教科書選定理由

<p>本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を選定した。</p> <p>① 題材・技法・美術史の関連が理解しやすい。</p> <p>掲載されてる作品や項目の多くに「リンクマーク」として関連ページが示されている。このシステムは現行本でも使われており，相互に行き来ができ，情報収集がしやすく全体像の把握を容易にするものである。このシステムを活用することにより，この教科書だけで対象項目の理解を深めることができ，発展的な探究活動の姿勢を育むことになり，アクティブラーニングが期待できる。</p> <p>② 各題材ごとに学習のねらいが三つの観点で示されている。</p> <p>学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて，全題材で学びの目標が三つの観点で示されている。生徒が学習の目的を明確に理解できるような構成になっている。</p> <p>③ 我が国の伝統文化が多角的な視点で扱われている。</p> <p>絵巻，屏風絵，浮世絵，和の空間，仏像などが，多角的な視点から複数掲載されており，我が国の伝統文化への理解が深まる工夫がされている。</p> <p>④ 生徒作品が豊富である。</p> <p>表現に関する各題材でいくつかの生徒作品例が掲示されており，生徒が身近に感じられる工夫がなされている。</p> <p>⑤ 資料ページも簡潔にまとめられている。</p> <p>技法や色彩など簡潔にまとめられており充実している。錯視関係のページにはフィルムシートが使われており，従来の印刷物では理解できなかった錯視の不思議さを理解しやすい。</p> <p>美術史の分量も格段に多く，各年代の美術史について，関連する作品と解説が並列してまとめられている。</p>

高等学校 教科書選定資料（美術 I）

調査の観点	主に以下の観点に基づいて、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に沿っているか調査する。 ① 学習指導要領との関連 ② 内容の適切度 ③ 学習効果への配慮 ④ 造本体裁	
発行	日本文教出版	光村図書
記号・番号	美 I・702	美 I・701
検定年	令和3年	令和3年
判型・項数	A4・158	A4 ワイド版・125
題材の選択・構成【観点①】	学習指導要領に示された「芸術科」及び「美術 I」の目標及び内容を踏まえ、幅広い視点から題材を設定してある。() は題材数。 ① 絵画 (13) ② 絵画・彫刻 (2) ③ 彫刻 (6) ④ デザイン (11) ⑤ 映像メディア表現 (4) ⑥ 資料 (24)	学習指導要領に示された「美術 I」の目標・内容をふまえ、A 表現 B 鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。() は題材数。 ① 絵画・彫刻 (18) ② デザイン (10) ③ 映像メディア表現 (6) ④ 資料 (21)
題材の配列・分量【観点②】	短時間で取り組みやすい題材から応用的な題材まで、多くの事例が適切に配列されている。分野ごとの分量も豊富である。 学習指導要領の目標と内容が3つの柱で整理されたことを踏まえて、全題材で学びの目標を3つの観点で示している。	題材は学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では、作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり、それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど、美感的に理解を深めることができる。
我が国と諸外国の美術文化【観点②】	絵巻、屏風絵、浮世絵、和の空間、仏像など、多角的な視点から我が国の美術文化への理解が深まる工夫がされている。 美術史のページでは、豊富な作例をあげて、日本のみならず諸外国の美術文化を理解する手がかりとなるよう配慮されている。美術史 25 ページ	「美術史年表」では、日本及び諸外国の美術を歴史の流れや文化的背景とともに理解することができる。 美術史 6 ページ
生徒作品の掲載数【観点③】	① 絵画 (11) ② 彫刻 (3) ③ デザイン (4) ④ 映像メディア表現 (3) 合計 20 点	生徒作品の掲載はない。
図版の工夫【観点③】	鑑賞能力を高める配慮として、原寸大で作品の大きさを体感出来るようにしてある。 フェルメールの「レースを編む女」(全体) モネの「日傘を差す女」(部分) 浮世絵のページは、特別な紙を使用し、浮世絵の質感が味わえるようにしてある。 東洲斎写楽の「大谷鬼次奴江戸兵衛」 喜多川歌麿の「扇屋花扇」 色相環は、本の外側に広げられるようにして、どのページでも参照できるようにしてある。 錯視のページはフィルムシートを使って錯視を分かりやすく紹介している。	ふすま絵や絵巻物、浮世絵が和紙風の用紙に印刷されており、本物に近い風合いで鑑賞することができる。 曾我蕭白の「雲龍図」 「鳥獣人物戯画 甲巻」は縮刷ながら全て掲載されている。 また、アルチンボンドの「夏」と歌川国芳の「みかけはこわいがとんだいい人だ」は見開きで掲載されており、比較鑑賞ができるように工夫されている。 巻末には切り離して使える「混色のヒント&色彩図鑑」が付しており、新学習指導要領の〔共通事項〕の学習に役立てられるようにしてある。
使用上の便宜【観点③】	各題材に学習の目標が三つの観点で示されており、生徒が学習に取り組みやすいようにしてある。 スマートフォンやタブレットをかざすとインタビュー動画や技法動画を見ることができる。 技法・美術史・題材のそれぞれに「リンクマーク」として関連ページが示されている。	「作家の手法」では、表現のヒントとなるアイデアスケッチや制作過程などが示されている。作家もさまざまなジャンルの作家9名が取り上げられている。 スマートフォンやタブレットをかざすと、その作品に関連した映像をみることができる。 内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされている。
表記・表現【観点③】	日本人作家、撮影者、読みにくい作品名、日常あまり使われない美術用語などには、ふりがなが施してある。	用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。
印刷・造本【観点④】	美術の教科書にふさわしく、鮮明で美しい。 生徒のアレルギーなどに配慮して、植物油インクが使用されている。紙は再生紙を使用し環境にも配慮されている。 見開きに対応した製本がなされており、しっかりと開くことができ、丈夫である。 カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育、防災・安全教育の観点から専門家の校閲がなされている。	表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 造本においては、環境に配慮した紙と植物油インクを使用している。 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。 カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされている。

芸術科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
38	光村	書 I	705	書 I

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第 1 学年	種目 書道 I
------	--------	------------

3. 教科書採択の理由

1. 教科書の最初に中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の違いやこれから学習する内容を知る導入部分があるため、生徒が見通しを持って学習に取り組める。
2. 古典の臨書を行う上で、手本となる臨書部分を 1 ページに大きく掲載しており、特徴を捉えやすく、また半紙へ臨書する上でも大きさ・太さがどのくらいで臨書すればよいか理解しやすい。
3. 古典の特徴や古典の概要・筆者の説明が簡潔かつ平明に書かれ、表記も空間を生かした配置のため、学習のポイントがわかりやすい。
4. 「漢字仮名交じりの書」では心に響く言葉を書く教材があり、言葉を題材にすることで基本となる伝えたいイメージが決めやすく、生徒がめざす方向がはっきりとし主体的に取り組める。
5. コラムには古典の真価がわかる押印の説明や、芥川龍之介や樋口一葉などの文学者の書や署名も鑑賞することができ、興味深い。
6. 異なる書風の字や異なった構成の漢字仮名交じりの作品から好きなものを生徒自ら選ぶ・比べる・イメージを言葉にするなどの感性を能動的に働かせる内容もある。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅠ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	C I	712	ELEMENT English Communication I

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	外国語・英語コミュニケーションⅠ
------	------	------------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) ELEMENT (啓林館)， (2) CROWN (三省堂)， (3) New Rays (いいずな書店)

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、(1) ELEMENT を使用することに決定した。判断の根拠となった ELEMENT の特徴の概略は以下のとおりである。

1. パッセージから言語活動への無理のない関係

各課の中心をなすパッセージを前後から挟む形で、語彙、リスニング、概要の把握、詳細の読み取り、パッセージの再生、自己表現の各活動がシステムティックに配置されており、英語力のさまざまな要素を、無理なく互いにつなげながら学習・練習できる。

2. パッセージの一覧性

読むべきパッセージが挿絵や資料写真などに分断されず、文章全体が一覧できるレイアウトになっている。読むときには読むことに集中でき、また、文章を全体として理解することが促される。

3. 長期的な指導計画

各課に設けられている問いが各課で独立したものではなく、複数の課にまたがって同じ種類の問いが繰り返されている。学力を長期的な計画で伸ばすには必要な配慮であり、年間を通じて使う教材として適切である。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現 I）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論 I	707	GENIUS English Logic and Expression I

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1 学年	外国語・論理・表現 I
------	--------	-------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか，モデルとして提示されている英文の適切さ，および言語材料と言語活動の連関やバランスを考慮して，次の3つを，本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) GENIUS (大修館)， (2) NEW CROWN (三省堂)， (3) APPLAUSE (開隆堂)

そのうえで，さらに構成や内容を精査し，総合的に判断した結果，(1) GENIUS を使用することに決定した。判断の根拠となった GENIUS の特徴の概略は以下のとおりである。

1. モデル英文から表現活動への丁寧な橋渡し

各課ともモデル英文が2つ掲載されており，生徒が自分で表現する際の手本が豊富である。また，モデル英文をもとに表現のフレームが分かりやすく示されており，モデル英文を参考にした自己表現を，段階的に無理なく導くことができる。

2. バランスの取れた言語材料の扱い

Put It into Focus では文法事項がコンパクトにまとめられている一方，各ページの下部に会話に有用な定型的表現が掲載されており，文法ベースの表現活動も，自由度の高いカジュアルな表現活動も，どちらも展開できるように誌面が工夫されている。

3. 授業場面での使い勝手の良さ

表現活動においては，生徒がメモを取ったり発表原稿を書いたりする欄が豊富に用意されており，ワークブック的な誌面になっている。教科書と辞書があれば活動ができる工夫であり，授業展開を物理的に支援するつくりである。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅡ）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 ELEMENT English Communication II
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	C II	712	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第 2 学年	種目 外国語・英語コミュニケーションⅡ
------	--------	------------------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) ELEMENT (啓林館)、(2) CROWN (三省堂)、(3) CREATIVE (第一学習社)

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、(1) ELEMENT を使用することに決定した。判断の根拠となった ELEMENT の特徴の概略は以下のとおりである。

1. パッセージから言語活動への無理のない連係

各課の中心をなすパッセージを前後から挟む形で、語彙、リスニング、概要の把握、詳細の読み取り、パッセージの再生、自己表現の各活動がシステマティックに配置されており、英語力のさまざまな要素を、無理なく互いにつなげながら学習・練習できる。

2. パッセージの一覧性

読むべきパッセージが挿絵や資料写真などに分断されず、文章全体が一覧できるレイアウトになっている。読むときには読むことに集中でき、また、文章を全体として理解することが促される。

3. 長期的な指導計画

各課に Overview として passage review を完成させる問いが用意されている。英語コミュニケーションⅠに比して教材の分量が多くなったのに対し、長い文章でも、内容のまとまりを捉えて理解する姿勢を育てるのに役立つ。

高等学校 教科書選定資料（英語コミュニケーションⅡ）

検討の観点			
1. 題材の適切さ： ①多様なテーマが扱われているか ②生徒に考える機会を与える，深いテーマが扱われているか 2. 英文の適切さ： ①英文の難易度（少し挑戦させるレベル） ②英文の量（課の数と1課あたりの語数） 3. 誌面構成の適切さ：①4技能の活用を意識した各タスクと関連付けやすいか ②その他の特徴			
	ELEMENT（啓林館）	CROWN（三省堂）	CREATIVE（第一）
1. 題材の適切さ	文化（全般・異文化・自文化），歴史，芸術，スポーツ，言語，コミュニケーション，ICT，教育，学問，思想，人生・生活，人権，平和，福祉，医療・健康，自然，科学，環境，共生，社会（社会問題），フィクション	文化（全般・異文化・自文化），歴史，芸術，スポーツ，言語，コミュニケーション，ICT，教育，学問，思想，人生・生活，人権，平和，福祉，医療・健康，自然，科学，環境，共生，社会（社会問題），フィクション	文化（全般・異文化・自文化），歴史，芸術，スポーツ，言語，コミュニケーション，ICT，教育，学問，思想，人生・生活，人権，平和，福祉，医療・健康，自然，科学，環境，共生，社会（社会問題），フィクション
2. 英文の適切さ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者にとっては少し挑戦するレベルである。 ・本課 8（1課あたり 600語程度～900語程度） ・巻末に Further Activities が3課設けられている ・巻末に各本課に関連した Speed Reading が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者にとっては少し挑戦するレベルである。 ・本課 10（1課あたり 750語程度～850語程度） ・各課末に，本文に関連した文章 Another Point of View が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者にとっては比較的易しいレベルである。 ・本課 9（1課あたり 500語程度～600語程度） ・Optional Lesson 2つ。
3. 誌面構成の適切さ	<ul style="list-style-type: none"> ・文章について学ぶページ，文章そのものを学ぶページ，文章を活用して学ぶページが明確に切り分けられており，学習活動を焦点化して設計しやすい。 ・各課扉ページの写真は，素材写真ではなく，込められたメッセージを考えたいような良質のものが選ばれている。 ・全体的に装飾性を抑えたデザインで，学習を阻害しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページごとに学習活動が設計できるように構成されている。 ・各セクションに Questions が設けられており，英語で授業を進める手助けとなる。 ・挿絵や写真は文章の内容理解を助ける良質なものが多数掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材によって誌面構成が異なり，画一的な授業展開を避け，題材にふさわしい指導ができるように構成が工夫されている。 ・Did You Know?では日本語が使用されており，本文以外での無理な英語使用による負荷を下げるように配慮されている。 ・ページ下部の語句欄では，発表語彙に入れたい語句が赤字で示されており，学習の指針が得られやすい。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅱ）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅱ	707	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第 2 学年	種目 外国語・論理・表現Ⅱ
------	--------	------------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材・活動や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) GENIUS (大修館), (2) CROWN (三省堂), (3) EARTHRISE (数研)

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、(1) GENIUS を使用することに決定した。判断の根拠となった GENIUS の特徴の概略は以下のとおりである。

1. 授業場面での使い勝手の良さ

モデルの検討からブレインストーミング、他の生徒との協働、そして発表へと、教科書と辞書があれば活動ができるワークブック的な誌面になっており、授業で扱いやすい構成である。

2. 使用を意識した言語材料の扱い

For Your Use では、言語活動で使用することを想定した用例で文法や構文が提示されており、言語材料の学習が言語活動に有機的に結び付くように配慮されている。

3. 有益なコラム

Improve Your Speaking/Writing Skill! では、話すこと・書くことの学習や各技能の理論的な面についてわかりやすく解説されており、生徒が学習においてメタ認知を働かせる手助けとなる。

高等学校 教科書選定資料（論理・表現Ⅱ）

検討の観点			
<p>1. 学習指導要領に即した指導の実現可能性：①生徒が自分の考えなどを整理して表現する活動ができるか</p> <p style="text-align: center;">②多様な言語活動が用意されているか</p> <p>2. モデル英文の適切さと難易度：①英文の質は生徒にとって模範となりうるか</p> <p style="text-align: center;">②英文の難易度は、難しすぎず生徒が扱える程度か</p> <p>3. 誌面構成：①多様な授業展開を許容する構成か</p>			
	GENIUS（大修館）	CROWN（三省堂）	EARTHRISE（数研）
1. 学習指導要領に即した指導の実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的话题から社会的な話題まで幅広くカバーされており、多様な場面で論理的に表現する力を養うことができる。 ・ 言語活動を通じて言語材料が学習できるように構成されており、両者の有機的な関連付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な話題について、表現の型が明示され、多様な場面で論理的に表現する力を養うことができる ・ Language Focus として言語材料が取り分けて提示されており、言語活動と言語材料を整理して指導することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的话题から社会的な話題まで幅広くカバーされているのに加え、社会的な話題でも日常的な視点が切り口になっているので、生徒が表現活動に取り組みやすい。 ・ 言語材料は Expression Plus としてまとめて整理されているので、生徒が参照しやすい。
2. モデル英文の適切さと難易度	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル文は、生徒が現状の力で産出できるよりもやや高いレベルに設定されており、生徒に提示する目標として適切である。 ・ モデル文の英語の質や内容については問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル文は、生徒が現状の力で産出できるのに近いレベルに設定されており、言語活動において生徒が参照しやすい。 ・ モデル文の英語の質や内容については問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル文は、特に語彙の面で生徒が現状の力で産出できるのに近いレベルに設定されている。 ・ モデル文の英語の質や内容については問題はない。
3. 誌面構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークブック的な誌面構成になっていることで、辞書と筆記用具以外の教材を必要とせず、学習活動に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル文に異なる色で網掛けがなされており、文章構成が分かりやすい。 ・ 生徒が書き込むスペースが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英米で出版されているテキストに似た配色・レイアウトで、英語学習に対する動機づけが高まる。

高等学校 教科書選定理由（コミュニケーション英語Ⅲ）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 Revised ELEMENT English Communication III
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	コⅢ	334	

2. 教科書を使用する学年および種目

		種目
高等学校	第 3 学年	外国語・コミュニケーション英語Ⅲ

3. 教科書採択の理由

扱われている題材や英文難易度の適切性を考慮して3候補（文英堂 UNICORN (New Edition)、啓林館 ELEMENT、三省堂 CROWN）に絞り、その中から ELEMENT に決定した。

1. 題材・英文の適切さ

題材は多岐にわたっており、自然科学・人文科学・社会科学に対する視野を広げ、洞察を深めることができる。また、全体を4つの Unit で構成し、説明文、エッセイ、物語など異なるテキストタイプの英文を扱っているため、さまざまな読み方を想定した展開が可能である。

英文のレベルについても、段階に応じた適切な難易度で書かれており、無理なく進んでいくことができる。本課の数も適切であり、課末に進出語句について英語での定義も掲載されている。

2. 誌面構成の適切さなど

全ての課が見開き2～3ページに統一されており、英文に集中して読み進めることができるように構成されている。各課の最後には視覚情報も与えられており、円滑に本文の内容に入っていけるように工夫されている。

課末の活動では本文の要約のほか、リテリング活動やエッセイの活動も含まれている。さらに4課収録されている Deepen Your Thoughts では、Listening, Note-taking, Brainstorming, Graphic Organizer, Speaking, Writing のスキルをすべて取り入れており、4技能を総合的に扱う工夫がなされている。

高等学校 教科書選定理由（英語表現Ⅱ）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
183	第一	英Ⅱ	328	

Perspective English Expression II NEW EDITION

2. 教科書を使用する学年および種目

		種目
高等学校	第 2 学年	外国語・英語表現Ⅱ

3. 教科書採択の理由

扱われている題材や言語活動，英文難易度の適切性，誌面構成等を考慮して3候補（増進堂 MAINSTREAM, 三省堂 CROWN, 第一学習社 Perspective）に絞り，その中から Perspective に決定した。

1. 内容や英文の適切さ

教科書全体は基本的に文法シラバスで構成されているが，題材の面でも，学校生活や対人関係など高校生に身近な話題から，情報社会，文化理解，福祉，人権など，やや複雑で抽象的な話題まで幅広く扱われており，高校2・3年生が英語を通じて考えるのにふさわしい内容となっている。また，英文の難易度の面でも，Part 1, 3 の Listen Up では，リスニングに適しているが平易過ぎない中難度の英文，Part 1 の Let's Read および Part2 の Model Paragraph では，リーディングでは中程度だが，ライティング・スピーキングとなると高校生にとってやや高難度の英文が扱われており，学習負荷が適切である。

2. 誌面構成の適切さ・配列など

各課が大きく2つに分けられており，前半ではリスニング・文法・短文での英作文，後半ではリーディング・機能・ディスコースでの英作文と体系的に配置されており，4技能の総合的・統合的な扱いを促す構成となっている。また，Part 2以降では，Model Paragraph や Practice において，パラグラフの実例がかなり豊富に提示されており，生徒はそれらを範例として学習することができるため，教材としての価値が高い。

家庭科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 家庭基礎 持続可能な未来をつくる
番号	略称	記号	番号	
183	第一	家基	710	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第1学年	家庭基礎
------	------	------

3. 教科書採択の理由

候補にあがった他の教科書（大修館書店，実教出版）と比較し，以下の点が優れており，本教科書に採択する。

1. SDGs 達成の視点を重点的に取り扱われコンセプトが明確な教科書

学習指導要領に示された内容が偏りなく扱われ，持続可能な社会の構築がクローズアップされており，教科書全体をとおして取り扱うテーマとなっている。随所に SDGs マークが付いており，家庭科の学びと SDGs を関連づけて考えることができる。

2. 生徒の学習意欲を高め，学習内容の理解を深める工夫

1つのテーマ見開き2ページ構成で，課題意識をもって学習できる構成であり，巻末には食品成分表や暮らしとかかわる法律，減災・防災ハンドブックの記載があることで，学習内容の理解に効果的である。

また，主体的に取り組むことができる学びあい・話し合いのテーマとして，随所に「TRY」が設けられており，主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。さらには，学習を通じて学びを深め，考え，行動につなげていく課題解決型の学習態度を身につけることができる「深めよう・活かそう」が設定されており，本校の生徒の実態に適している。

3. 教科書の機能を高める細かな仕掛け

本文の説明が具体化・可視化できるよう紙面が有効に活用されており，二次元コードから関連するサイトや動画に簡単にアクセスできることで，学習への関心を高めるとともに幅広い知識・技能が習得できる。

調理実習は家庭生活に役立つ題材が，授業時間に適した分量で取り上げられ，イラストと説明文との一体化した形で展開されているため，理解を促すことができる。

高等学校 教科書選定資料

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標に即した学習プログラムを履行できる教科書であるか調査する。 ① 基礎・基本の定着, ② 構成, 分量, ③ 表記・表現, ④ 学習環境への配慮 ⑤ 学習内容の深化		
発行	第一学習社	大修館書店	実教出版
記号・番号	家基 710	家基 709	家基 705
検定年	2021 年	2021 年	2021 年
判型・項数	AB 216 頁	A4 255 頁	AB 253 頁
内容構成 【観点①】	①これからの生き方と家族 ②次世代をはぐくむ ③充実した生涯へ ④ともに生きる ⑤食生活をつくる ⑥衣生活をつくる ⑦住生活をつくる ⑧経済生活をつくる	①生活のマネジメント ②青年期の課題と自立 ③家族・家庭生活のマネジメント ④子どもの生活と子育てのマネジメント ⑤高齢期の生活のマネジメント ⑥共生社会をつくる ⑦持続可能な社会をつくる ⑧製剤生活のマネジメント ⑨食生活のマネジメント ⑩衣生活のマネジメント ⑪住生活のマネジメント	①②自立・家族分野 ③保育分野 ④高齢者分野 ⑤社会福祉分野 ⑥食生活分野 ⑦衣生活分野 ⑧住生活分野 ⑨⑩消費経済と環境分野
内容の程度 【観点①】	適度な実習が掲載されており、これまでに培った力を確認・定着させるための配慮が随所にみられる。	実習・実験が多く掲載されており、もりだくさんな内容がある。	適度な実習が掲載されており、これまでに培った力を確認できるための配慮がみられる。
内容の構成と分量 【観点②】	1 テーマ見開き 2 ページ構成で、文章がまたがらず読みやすい構成と、分量である。	1 テーマ見開き 2 ページで資料を右ページに配置しておりわかりやすいが、A4 判のため重く分量が多い。	1 テーマ見開き 2 ページを基本としつつ、数ページにわたるテーマがある。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮 【観点③】	豊富なイラスト・図版・表により本文が視覚的に理解しやすい。ユニバーサルデザインフォントおよびカラーバリエーションにも配慮しており、ルビも適度である。	ユニバーサルデザインデザインの紙面で写真も豊富に使用されており理解しやすい工夫がなされている。ルビが小学校で学習する漢字も含め多めである。	ユニバーサルデザインフォントを使用し、紙面デザインのビジュアル化を図っている。ルビが少なめである。

<p>学習環境への配慮【観点④】</p>	<p>取り組みやすい学習内容が選択され、ポイントが把握しやすい。</p>	<p>多彩なアプローチによる実践・実習題材が掲載されている。</p>	<p>学習要素は関連するものをまとめて解説を掲載しており、理解しやすい。</p>
<p>学習の深まり【観点③】</p>	<p>巻頭や章末にホームプロジェクトの実践例が豊富に取り上げられている。また、「深めよう、活かそう」で課題解決型の学習態度を身につけるよう工夫されている。</p>	<p>習得した知識・技能を活用して、「生活をマネジメントする」ということに踏み込んで考えるように工夫されている。</p>	<p>随所に「Column」や「Step Up Column」を設け現代的な話題もとりあげ、より学習が深められるように工夫されており、巻末には「ひとり立ちへのStep」を掲載し自立に向けた教材を設定している。</p>

情報科 高等学校教科書採択理由書

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 情報 I
番号	略称	記号	番号	
116	日文	情 I	710	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第2学年	情報 I
------	------	------

3. 教科書採択の理由

新学習指導要領において、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実させることになった。

高等学校では、全ての生徒が必ず履修する科目（共通必修科目）「情報 I」が新設され、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学ぶ。これからの社会を生きるために必要な情報活用能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びを実現できることを重視している。「情報 I」の学習は「問題の発見・解決を行う学習活動」がベースにある。

採択の候補となる 6 社の教科書について検討したが、いずれも生徒の興味・関心を喚起するとともに主体的に学ぼうとする学習活動を工夫して取り入れられていた。

本校の教育目標や生徒実態に照らして検討し、次の理由から総合的に判断した結果、本書を採択する。日本文教出版の「情報 I」を選んだ理由は大きく次の 3 点である。

1. 生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を向上させる工夫がある

生徒が読んで理解できる平易な表現と無理なく知識・技能を習得できるよう工夫されていることから、生徒の興味・関心を喚起し、主体的・対話的で深い学びにつながる。

2. 生徒の探究心に応える豊富な実習題材がある

最新の情報通信技術が扱われており、社会でどのように役立てられるのか、そのつながりを理解することができる。また、3 種類のプログラム言語を扱った豊富な実習題材と資料により基礎技能習得、プログラム構造の理解がサポートされるよう配慮されている。

3. 情報モラルの充実

学習活動を通して、情報社会を生きていくための基本的なルールやマナーの在り方を考えることができるよう工夫されている。

高等学校 教科書選定資料

調査の観点	次に示す観点に基づいて、本校の教育目標に即した学習プログラムを履行できる教科書であるか調査する。① 基礎・基本の定着、② 構成、分量、③ 表記・表現、④ 学習環境への配慮 ⑤ 学習内容の深化	
発行	東京書籍	日本文教出版
記号・番号	2 東書 情 I 701	116 日文 情 I 710
検定年	令和3年	令和3年
判型・項数	B5 203 ページ	B5 246 頁
内容構成 【観点①】	①情報で問題を解決する ②情報を伝える ③コンピュータを活用する ④データを活用する ⑤活動して提案する	①情報社会に生きるわたしたち ②情報社会の問題解決 ③コミュニケーションと情報デザイン ④コンピュータとプログラミング ⑤情報通信ネットワークとデータの活用
内容の程度 【観点①】	比較的短い時間で実施できる実習が多数あり、これまでに培った情報活用能力を確認・定着させるための配慮がみられる。	幅広い高度な知識と技術が取り扱われている。資料には基本事項がまとめられており、理解を深めやすい。
内容の構成 【観点②】	学習内容を理論編と実習編に分け、理論編は分野をこえた総合的な学習ができるよう関連ページへのリンクが多数ある。実習編は厳選された実習例により、学習を効率的に進めることができる。	問題解決の流れを体験しながら学習する構成により基本事項を学習できる。実習に取り組む際に役立つトピックが「技法」としてまとめられている。プログラミングの内容は例題を中心に構成され、順を追って理解を深めることができる。
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮 【観点③】	巻末の用語集には多数の用語が取り上げられており、生徒の主体的な学習に有効である。基本的な内容は資料編で生徒が随時参照できるように配慮されている。	イラストや図解により視覚的に内容を理解しやすい。2次元コードから教材にアクセスすることができ、知識の定着と基本的な操作を習得するための内容が充実している。
学習環境への配慮 【観点④】	「中学校の振り返り」のページや、ソフトウェアの基本的操作を習得するための解説がたくさん盛り込まれている。	学習内容は一般論で説明されていて、特定のコンピュータやソフトウェアに依存していない。実習で必要になる各種データやファイルは、資料等でサポートされている。
学習の深まり 【観点⑤】	実習編は生徒の興味・関心に応じて題材を選ぶことができるよう多様な題材がある。理論編は、より深い学びに向かうことができるようコラムが設けられている。	最新の情報通信技術や活用事例が紹介され、学習内容と実社会とのつながりを知ることができる。統計的な手法の解説により、他教科との関連を意図した授業を展開しやすい。
その他	再生紙・植物油インキを使用し、環境保全への配慮がある。文字や図の色づかいでは、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。	カラーユニバーサルデザインにも配慮されており、印刷も鮮明である。UDフォントが用いられて読みやすい。環境への配慮から再生紙と植物油インキが使用されている。